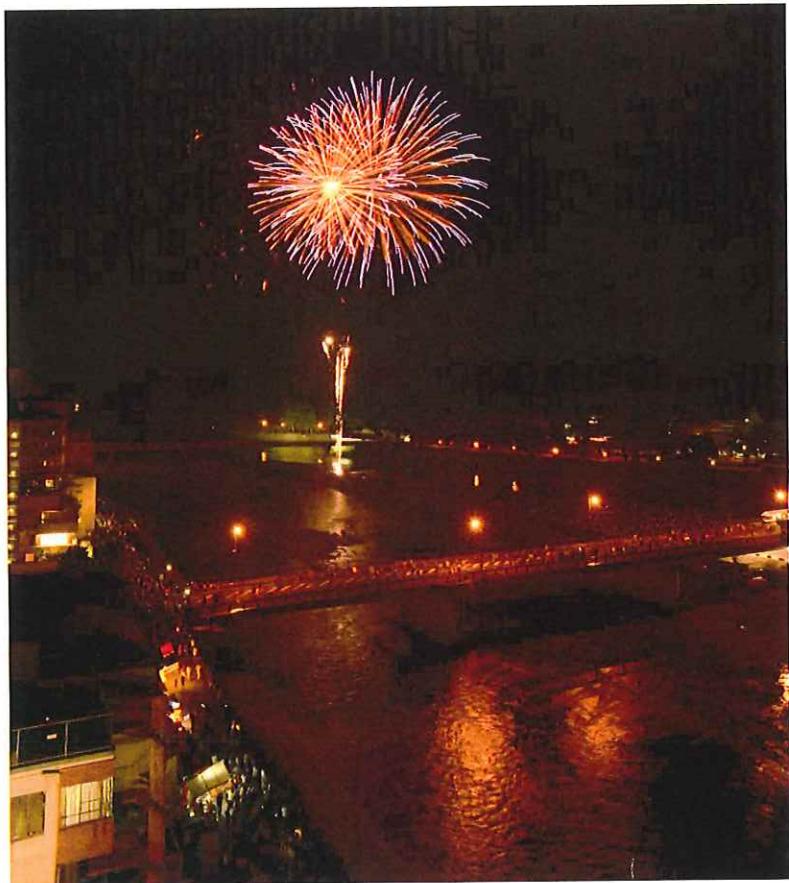


平成29年版 消防年報



人吉下球磨消防組合

は し が き

この年報は、人吉下球磨消防組合の消防現勢及び平成28年度中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の消防行政の推進に資するとともに、消防事情を一般に紹介するため編集したものです。なお、内容については、主に平成29年4月1日をもって収録しており、一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

平成29年11月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目 次

○ 消防の現況

◆ 一目統計	
◆ 管内の概要、管内面積・人口及び世帯数	1
◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地	2
◆ 構成市町村の概況	3
◆ 平成28年度の主要行事	5
◆ 消防の沿革	11
◆ 消防組合の組織	20
◆ 消防本部及び署の組織	21
◆ 消防本部及び消防署の事務分掌	22
◆ 職員の配置状況と階級別現員	26
◆ 勤続年数別職員数	27
◆ 年齢別職員数	28
◆ 消防予算	29
◆ 職員の教育実施状況	30
◆ 職員の特殊技能・資格取得状況	31

○ 消防活動

◆ 消防用車両配置状況	32
◆ 消防用特殊資機材保有状況	33
◆ 消防水利	35
◆ 救助業務	36
◆ 火災統計	38
◆ 救急統計	41
◆ 通信関係	46

○ 予防業務

◆ 防火対象物現況	51
◆ 管内中高層建築物現況	52
◆ 消防法令に基づく各種届出、防火管理者講習会実施状況	53
◆ 建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況	54

○ 消防団 幼少年婦人防火委員会

◆ 消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数	55
◆ 幼年消防クラブの現況	56
◆ 保育園（所）防火クラブ・婦人防火クラブ・少年消防クラブの現況	57
◆ 全国統一防火標語	58

◆ 一目統計

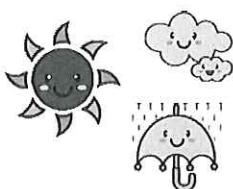
平成29年4月1日現在

自然環境

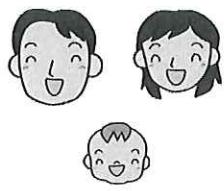
人口・世帯



管内面積
971.84km²



気象
年平均気温
16.1 °C
年間降雨量
2,812 mm



人口
57,248人



世帯数
24,320世帯

消防予算

構成・人事



消防予算

10億2,603万円



署所
消防本部 1
署 1 分署 4



職員数
定数 110人
実数 108人



消防団員数
定数 1,924人
実数 1,688人

機械・施設



消防車等
ポンプ車 1台
タンク車 5台



特殊車両等
はしご車 1台
救助工作車 1台
化学車 1台
その他車両 23台



救急車等
高規格救急車 7台



消防水利
消火栓(基準) 631基
消火栓(基準外) 580基
防火水槽 907基

火災救助

(平成28年統計)



火災件数 19件
死者 0人
負傷者 0人
損害額 1,668(千円)



救急出動
出動件数 2,838件
搬送人員 2,701人

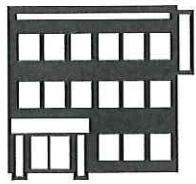


救助出動
出動件数 24件
活動件数 17件

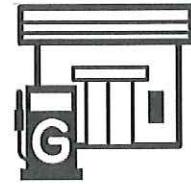


その他の災害出動
出動件数 394件
捜索 1件

予防



防火対象物数
2,636件



危険物施設数
製造所 1件
貯蔵所 136件
取扱所 94件



防火対象物定期点検
報告制度
特例認定事業所 5件
定期点検報告事業所 55件



防火クラブ
幼年消防 25団体
婦人防火 1団体
少年消防 1団体

消防の現況



◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県の最南部人吉市の、東経 130 度 44 分 9 秒、北緯 32 度 13 分 0 秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空间は、南九州の三県庁所在地（鹿児島市・宮崎市・熊本市）のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、延長 100 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

本組合管内を南北に貫く九州自動車道は、熊本市・宮崎市・鹿児島市の三県庁所在地に対して、1 時間圏内として産業・経済の流入に大きな役割を担っています。

平成 20 年春、人吉市内にある青井阿蘇神社が熊本県内に現存する建造物では初の国宝指定となり、九州内の神社では大分の宇佐神宮本殿に次ぐ、2 件目の国宝となりました。

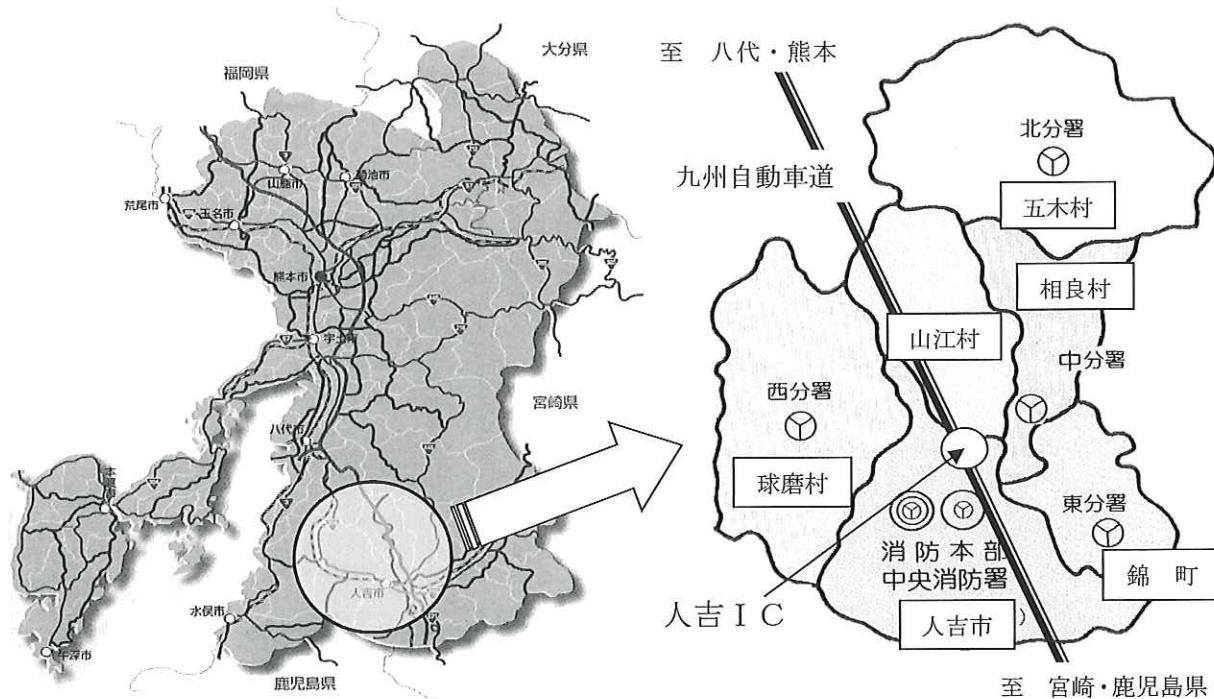


◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面 積 (km ²)	人 口 (人)	国調人口 (人)	世帯数 (戸)
人吉市	210.55	33,203	33,890	15,617
錦 町	85.04	10,899	10,766	3,814
相良村	94.54	4,594	4,468	1,657
五木村	252.94	1,136	1,055	503
山江村	121.19	3,553	3,422	1,215
球磨村	207.58	3,863	3,698	1,514
計	971.84	57,248	57,299	24,320

※ 平成 29 年 4 月 1 日現在
国勢調査は平成 27 年 10 月 1 日現在（速報値）の数字

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



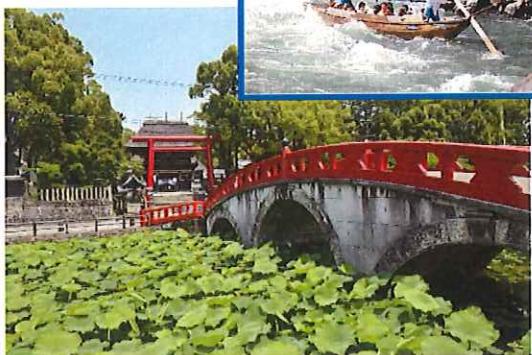
	所 在 地	庁舎の構造 及び建築年	延床面積	敷地面積
消防本部 中央消防署	〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3階 (平成元年)	2,802 m ² (1F) (2F) (副塔 3F) (主塔 6F) その他	1,226 1,226 36 188 126
東分署	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587 番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 m ²	1,062 m ²
西分署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 大字一勝地甲 77 番地 3	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 m ²	1,149 m ²
北分署	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 80	鉄骨防火 サイディング張 平屋建 (平成 22 年)	270.25 m ²	1,853.53 m ²
中分署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2493 番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建 (平成元年)	217.00 m ²	1,154 m ²

◆構成市町村の概況

ひとよしし
人吉市



〒868-0051
熊本県人吉市
麓町 16 番地
Tel
0966 (22) 2111



青井阿蘇神社と球磨川下り

人吉市は熊本県の最南部に位置しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、「球磨川下り」「人吉温泉」「球磨焼酎」を楽しめる観光地として古くから親しまれ、また近年では、九州で唯一のポイントである球磨川でのラフティングが大きな人気を集めています。

また、市内の青井阿蘇神社が県内の建造物では初めて国宝に指定されたことに続き、JR肥薩線「SL人吉号」の復活や「特急かわせみやませみ」の運行など、盛り上がりを見せています。

にしきまち
錦町



〒868-0302
熊本県球磨郡錦町
大字一武 1587 番地
Tel
0966 (38) 1111



球磨川沿いのツクシイバラ

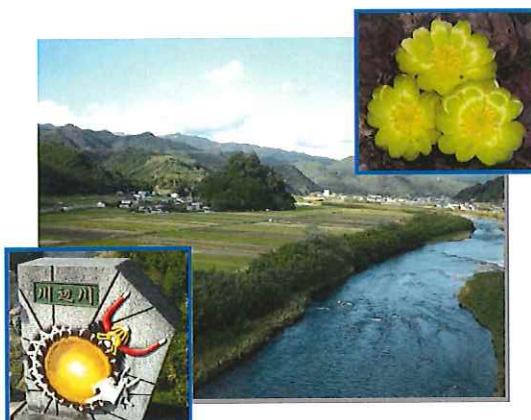
錦町は、熊本県の南部に位置し、町の北部は人吉盆地に含まれ、南部は九州山地の一部となっています。清流球磨川が東西に流れ、初夏には河川敷に、町花であるツクシイバラが咲き乱れます。

農業が盛んであり、南部の山麓地帯は特産品である梨・桃、北部の丘陵地帯はお茶の産地となっています。中央部では、山々から流れる澄み切った水を用いて良質な米が作られ、古き良き伝統を受け継ぐ職人たちの手により、全国的に有名な球磨焼酎が生まれています。

さがらむら
相良村



〒868-0094
熊本県球磨郡相良村
大字深水 2500 番地 1
Tel
0966 (35) 0211



清流川辺川と雨宮の森

相良村は、球磨郡のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村です。

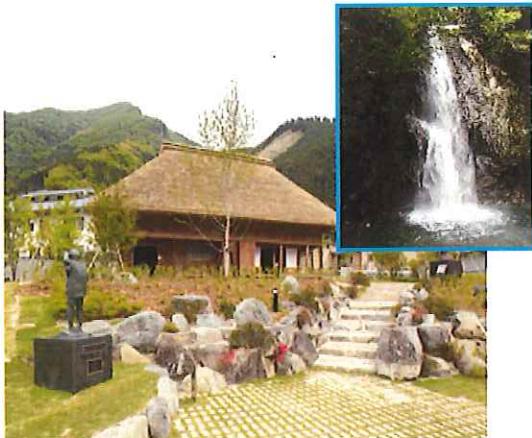
県内一の生産量を誇る「茶」等、農林業が主産業であり、「水と緑を活かした潤いある村づくり」を取り組んでいます。また、緑に包まれ澄んだ流れの川辺川をはじめ、四季折々の豊かな相良村の表情を1年中楽しむことが出来ます。

いつきむら
五木村



〒868-0201
熊本県球磨郡五木村
甲字下手 2672 番地 7

Tel
0966 (37) 2211



五木子守唄公園

五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を10年連続水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然に彩られたのどかな村です。全国的に有名な「五木の子守唄」の発祥の地としても知られています。

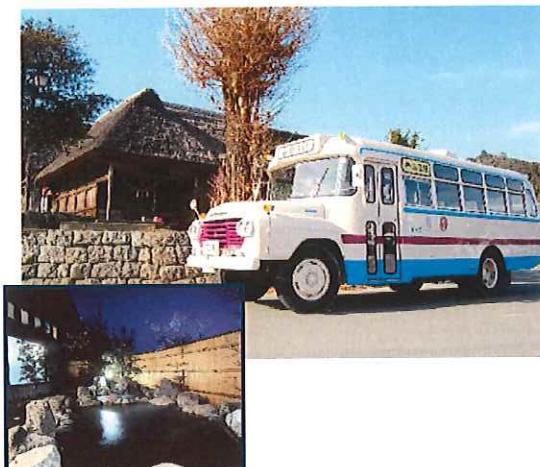
近年は地域資源を活かしたバンジージャンプ・カヤック・ツリークリミング・サイクリング等のアクティビティが楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されています。

やまえむら
山江村



〒868-0092
熊本県球磨郡山江村
大字山田甲 1356 番地 1

Tel
0966 (23) 3111



山江温泉「ほたる」とマロン号

のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然溢れる農山村です。農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが生息する九州でも有数な清流であるとともに、盆地特有の気候を利用して良質な栗の栽培に力を入れており、トップブランド化を図っています。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財である「山田大王神社」や「毘沙門天立像」、産業考古学推薦産業遺産に認定された「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

くまむら
球磨村



〒869-6401
熊本県球磨郡球磨村
大字渡丙 1730 番地

Tel
0966 (32) 1111



球泉洞と急流球磨川ラフティング

球磨村は、球磨川中流部に位置する自然豊かな山村です。日本棚田百選に選ばれた「松谷」「鬼の口」棚田、3億年の神秘観光鍾乳洞「球泉洞」、スリル満点の「球磨川下り」や「ラフティング」、美肌効果の高い天然温泉「一勝地温泉かわせみ」など心ほぐれるひとときを過ごすことができます。

また、「一勝地梨」の梨畠の景観を背景に「毎床溝に育まれた農村の原風景」として評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟いたしました。

おだやかに緩やかに「人と自然の調和」が今も受け継がれています。

◆ 平成28年度の主要行事

4月

- 1日 通常点検・辞令交付
- 8日 熊本県消防学校初任科第61期入校 3名
- 8日 人吉准看護学院入学者研修
- 14日 平成28年度熊本県消防長会春季総会



平成28年熊本地震

5月

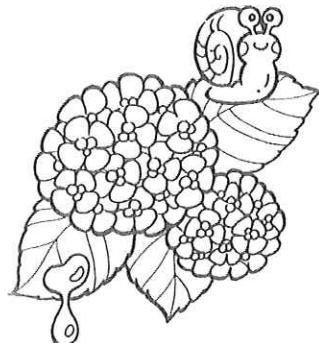
- 24日 人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会総会
- 26日 甲種防火管理者再講習
- 31日 平成28年度熊本県殉職者慰靈祭



救助技術署内大会（陸上の部）

6月

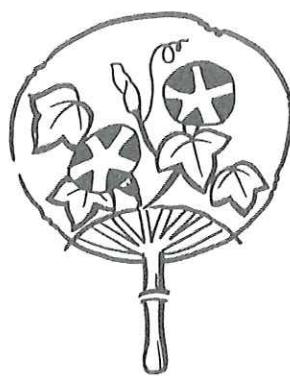
- 7日 平成28年熊本地震災害ボランティア ~8日
14日 平成28年度人吉下球磨幼年婦人防火委員会総会
24日 署内救急シミュレーション演習



署内救急シミュレーション演習

7月

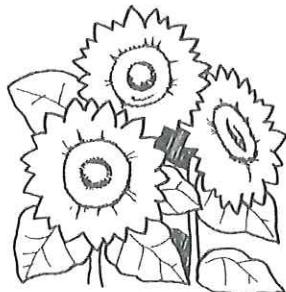
- 3日 西瀬少年消防クラブ結成式
6日 第56回熊本県救急教育セミナー あさぎり町
12日 球磨川水面利用に関する連絡協議会
19日 人吉下球磨消防組合議会議員研修 東京都
31日 第30回球磨郡消防ポンプ操法大会



西瀬少年消防クラブ結成式

8月

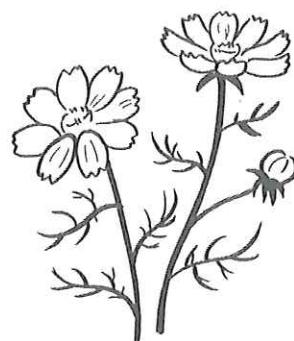
- 10日 西瀬少年消防クラブ消防學習
- 23日 平成28年度全国優良消防職員表彰 愛媛県
- 24日 第45回全国消防救助技術大会 愛媛県
- 24日 人吉第一中学校職場体験學習
- 30日 山江中学校・球磨中学校職場体験學習



人吉第一中学校職場体験學習

9月

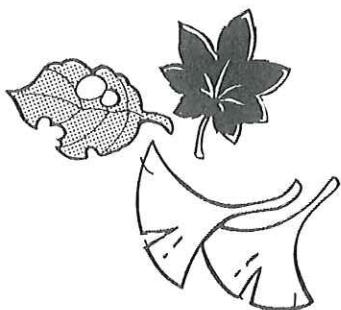
- 7日 人吉第二中学校職場体験學習
- 9日 平成28年度救急医療功労者知事表彰
- 16日 初任科第61期生校長査閲及び卒業式
- 27日 防災救急ポスター表彰式
- 29日 福川ボランティア～10月1日



初任科第61期生卒業式

10月

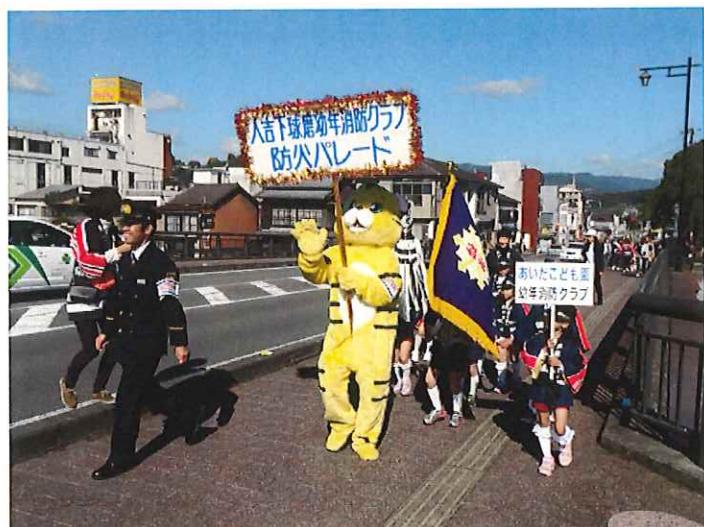
- 11日 署内救急シミュレーション
- 12日 熊本県消防長会秋季総会
- 14日 人吉下磨消防連絡協議会・住宅防火対策推進協議会秋季会議
- 17日 職員委託研修
- 26日 久七トンネル訓練



久七トンネル訓練

11月

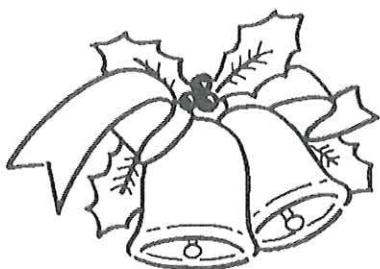
- 9日 平成28年秋季全国火災予防運動～15日
- 9日 幼年消防クラブ防火パレード
- 11日 屋内消火栓操法指導会
- 22日 平成28年11月第2回人吉下球磨消防組合議会定例会
- 23日 少年消防クラブ住宅用火災警報器リーフレット配布



幼年消防クラブ防火パレード

12月

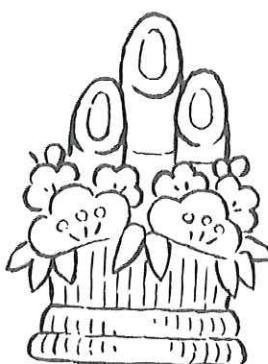
- 6日 球磨工業高校インターンシップ
- 7日 城南ブロック消防本部救急総合シミュレーション演習
- 8日 防火餅つき大会
- 14日 幼年消防クラブ指導者研修
- 28日 年末警戒



防火餅つき大会

1月

- 4日 管理者年頭訓示
- 5日 消防団出初式（五木村・球磨村）
- 6日 消防団出初式（山江村）
- 8日 消防団出初式（人吉市・錦町・相良村）
- 29日 住宅用火災警報器戸別訪問調査



出初式（人吉市）

2月

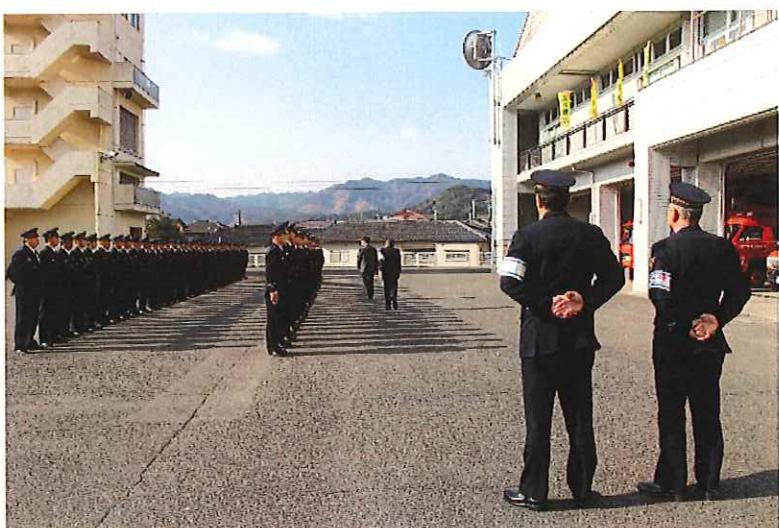
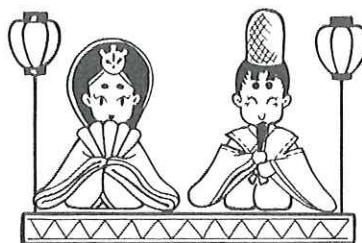
- 10日 人吉下球磨消防連絡協議会・住宅防火対策推進協議会春季会議
- 13日 管理者会議
- 24日 第58回熊本県救急教育セミナー 八代市
- 28日 議会全員協議会、議会定例会



人吉下球磨消防連絡協議会・住宅防火対策推進協議会

3月

- 1日 平成29年春季全国火災予防運動～7日
- 5日 住宅用火災警報器個別訪問調査
- 7日 平成28年度人吉下球磨消防組合表彰式
- 10日 城南ブロック消防本部臨時総務課長会議、職員特別研修会
- 16日 人吉下球磨地域MC協議会



通常点検

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

昭和22年	12月	消防組織法制定公布
昭和23年	4月	人吉市役所総務課内に消防係を新設（職員数1名） 水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名（職員数2名）
昭和24年	1月	常備消防発足、職員新規採用6名（職員数8名）
昭和26年	1月	消防ポンプ車購入（2号車）、職員新規採用8名（職員数16名）
昭和27年	7月	人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任（市助役兼務）
昭和28年	6月	消防ポンプ車購入（3号車）
昭和30年	4月	職員新規採用2名（職員数18名） 9月 第2代消防長 内藤四郎 就任（市助役兼務）
昭和33年	12月	職員新規採用3名（職員数21名）
昭和34年	9月	人吉市消防署設置
	12月	職員新規採用6名（職員数27名）
昭和35年	6月	職員新規採用4名（職員数31名） 9月 小型動力ポンプ購入
昭和36年	10月	条例改正により定員38名となる 12月 第3代消防長 久保田楓生 就任（専任消防長）、司令車購入
昭和37年	1月	消防庁舎新築落成（人吉市新町16番地） 3月 消防無線設置（基地局1・移動局1）
昭和39年	1月	職員欠員補充2名 3月 消防ポンプ車（ニッサン）日本損害保険協会から寄贈 4月 職員新規採用1名（職員数32名） 7月 職員新規採用1名（職員数33名）
昭和40年	9月	救急車（B級）人吉ライオンズクラブから寄贈
昭和42年	12月	職員新規採用5名（職員数38名）、消防ポンプ車更新
昭和43年	4月	職員欠員補充1名
昭和44年	9月	第4代消防長 鳥飼雄吉 就任（市助役兼務）
昭和45年	1月	職員欠員補充2名 4月 職員欠員補充2名 11月 水槽付消防ポンプ車（1号車）更新
昭和46年	4月	救急車（A級）日本損害保険協会から寄贈 職員新規採用3名（職員数41名） 11月 消防無線狭帯化に伴い無線機を更新
昭和47年	1月	職員新規採用1名（職員数42名） 9月 消防ポンプ車（3号車）更新
昭和48年	5月	職員欠員補充1名
	10月	救急車（ニッサン）購入

◇ 消防組合の沿革

昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足（人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台） 初代消防長 上原 茂 就任 職員新規採用12名（職員数54名）
	7月	熊本県消防学校初任科12名入校 職員新規採用12名（職員数66名）
		熊本県消防学校初任科12名入校 中央消防署西分署（球磨村）仮庁舎にて業務開始、消防車（球磨村から譲渡）1台・西分署職員数7名 司令車（三菱コルト）一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署（錦町）仮庁舎にて業務開始、消防車（錦町から譲渡）1台・東分署職員数7名 中央消防署北分署（五木村）仮庁舎にて業務開始、積載車（五木村から譲渡）1台・北分署職員数7名
	12月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年	1月	東・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始 救急車（ニッサンキャラバン2B）購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
	4月	職員新規採用13名（職員数79名） 熊本県消防学校初任科13名入校
	12月	広報車（ニッサングロリア）購入、中央消防署に配備 梯子付消防ポンプ車（森田24粍級）購入、中央消防署に配備
昭和51年	9月	水槽付ポンプ車（森田・三菱、水槽1.5t）2台購入、東・西分署に配備
	10月	消防ポンプ車（日機・トヨタ）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年	4月	第2代消防長 竹本 望 就任
	9月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL・1,600cc）2台購入、東・西分署に配備 消防大学校予防科 1名入校

	11月	消防ポンプ車（森田・三菱、水槽1.5t）購入、北分署に配備 北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央署に配備
昭和53年	4月	消防大学校警防科 1名入校 7月 消防ポンプ車（ニッサン）1台購入、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL・1,600cc）北分署に配備
昭和54年	4月	消防大学校救急科 1名入校 12月 査察広報車（トヨタマークII GL 1,800cc）消防本部に配備
昭和55年	3月	救急車（ハイエース2B）県農協共済連から寄贈 10月 消防大学校上級幹部科 1名入校 12月 救助工作車（日機）1台購入、中央消防署に配備
昭和56年	11月	広報車（トヨタマークII 乗用車）購入、消防本部に配備 防火広報車（トヨタ9人乗り）（財）日本防火協会から寄贈
昭和57年	3月	消防本部の組織に関する規則改正、予防係を予防課に昇格 4月 消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする 6月 消防職員欠員補充1名、新規採用6名（職員数85名） 9月 救急車（ニッサン2,000cc）日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備 10月 消防大学校予防科 1名入校 11月 水槽付ポンプ車（ドライケミカル・日野、水槽2t）中央署に配備 第8回九州地区消防駅伝大会優勝（於：福岡市）
昭和58年	4月	熊本県消防学校初任科7名入校 11月 人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立（15団体、1,250人） 第9回九州地区消防駅伝大会優勝（於：伊万里市）
昭和59年	3月	救急車（トヨタ2B）西分署に配備 9月 第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年	3月	救急車（トヨタ2B）東分署に配備 4月 救急車（トヨタ2B）県農協共済連から寄贈 6月 人員搬送車（ニッサンマイクロバス3,300cc）サンロードから寄贈、中央署に配備 9月 第4代消防長 岩本康資 就任 消防大学校上級幹部科 1名入校 11月 消防ポンプ車（日本ドライケミカル・三菱）中央署に配備 人吉下球磨幼年消防大会開催（18団体 1,398人）
昭和61年	4月	職員欠員補充2名、熊本県消防学校初任科2名入校 消防大学校救急科 1名入校
昭和62年	1月	指揮車（ハイエースバン2,400cc）中央署に配備
昭和62年	4月	消防大学校救助科・幹部研修科 各1名入校 8月 救急車（トヨタ2B）日本消防協会から寄贈、中央署に配備
昭和63年	4月	職員欠員補充2名、熊本県消防学校初任科2名入校 10月 消防大学校予防科 1名入校
平成元年	4月	職員欠員補充1名、熊本県消防学校初任科1名入校 消防庁舍新築移転（人吉市下林町1番地）業務開始 相良分遣所開設（分遣所職員数8名体制）、3課1室に機構改革 8月 消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入 10月 消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名 職員新規採用6名（職員数91名）
	12月	九州縦貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年	1月	消防大学校幹部研修科 1名入校 4月 救急車（トヨタ2B）（有）岩下産業から寄贈 中央署に配備 職員欠員補充1名 熊本県消防学校初任科3名入校 8月 第19回全国消防救助技術大会出場（広島市）救援物資搬送 11月 消防大学校警防科 1名入校 第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	12月	事務連絡車（ニッサングロリア1,990cc）購入、消防本部に配備
平成3年	1月	査察車（トヨタカローラ1,290cc）購入、消防本部に配備 3月 救急車（ニッサン2B）安田生命から寄贈、相良分遣所に配備 救助資機材レスキュー・ツール（ホルマトロ社製）中央署に配備
	4月	水槽付ポンプ車（A-II型・日本ドライケミカル三菱）東分署に配備 職員欠員補充1名、熊本県消防学校初任科3名入校 8月 水槽付ポンプ車（吉谷機械製作所・いすゞ1.5t）日本損害保険協会から 寄贈 西分署に配備 消防大学校救助科 1名入校
	10月	広報車（ニッサンアベニール1,590cc）購入、東分署に配備 11月 第2回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
平成4年	4月	熊本県消防学校初任科2名入校 6月 第18回熊本県救助技術大会（水上の部）開催 7月 第21回九州地区救助技術指導会（陸上・水上の部）開催 8月 第21回全国消防救助技術大会出場 救援物資搬送（千葉市）

平成5年	11月	職員欠員補充1名 第3回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	12月	広報車（ニッサンADワゴン 1,500cc）購入、西分署に配備
	1月	消防大学校予防科 1名入校
	2月	消防ポンプ車（A-II型・いすゞ 3,600cc）北分署に配備
	3月	週40時間制勤務試行（隔日勤務者、8週16休）
	4月	熊本県消防学校初任科1名入校
	7月	完全週休2日制へ移行
	8月	第22回全国消防救助技術大会出場（福岡市）ロープブリッジ救出
	11月	第4回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	1月	高規格救急車（トヨタハイメディック4,000cc）中央署に配備
	3月	救急指導車（トヨタ4,000cc）岩下産業から寄贈、中央署に配備
	8月	第23回全国消防救助技術大会出場（京都府）ロープブリッジ救出
平成6年	10月	消防組合発足20周年記念式典
	11月	第5回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	1月	第5代消防長 高橋昭三 就任
	2月	消防大学校警防科1名入校
	3月	定数条例改正（91名を103名へ） 2部制勤務より3部制勤務へ移行
平成7年		水槽付ポンプ車（A-II型・日本ドライケミカル日野1.5t）相良分遣所へ配備
	4月	機構改革（消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央署に消防課設置）
	5月	職員新規採用3名（救急救命士1名採用 職員数94名） 職員欠員補充1名
		中央署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈
	6月	第21回熊本県救助技術大会（水上の部）開催
	7月	加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉～えびの間供用開始 救急車（ニッサン 3,000cc）JA共済連から寄贈 東分署に配備 東分署仮眠室全面改裝（ベッド設置）
	9月	第1回「救急フェア '95」開催
	10月	職員研修（講師：東京消防庁 西形國夫氏）
	11月	第6回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	12月	欠員補充1名（職員数94名） 事務連絡車（フォード1,800cc）株M i s u m i から寄贈
	1月	巨人軍宮本投手「一日消防長」開催
	2月	資機材搬送車（いすゞ 2t ロング 4,300cc）中央署に配備 警察・消防合同「毒劇物漏洩事故訓練」実施
平成8年	3月	第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '96」開催 原野火災防御訓練実施
	4月	職員新規採用3名（救急救命士1名採用、職員数97名） 職員欠員補充3名
		職員研修会（講師：熊本日本電気株社長 新川高信氏）
	5月	司令車更新（トヨタ 2,000cc）中央署に配備
	7月	職員研修会（講師：郷土史家 前田一洋氏） 東京消防庁派遣実務研修（本庁予防部調査課へ2名）
	9月	第2回「救急フェア '96」開催
	10月	東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名）
	11月	西分署事務室及び仮眠室全面改裝（ベッド設置） 第7回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	1月	巨人軍宮本投手・柏田投手「一日消防長」開催
	2月	消防大学校予防科 1名入校 職員欠員補充2名（職員数97名）
	3月	職員研修会・「一日消防長」開催、中村祐二選手 東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名） 化学消防車購入（三菱 8,200cc A-II型 日本造機）中央署に配備 北分署救急車更新（トヨタ 3,000cc 2B）
平成9年		第2回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '97」開催 高規格救急車（トヨタ ハイメディック）（社）日本損害保険協会から寄贈 更新による廃車救急車2台、管内医師会へ寄贈 高規格救急車（トヨタ ハイメディック）東分署へ配備 北分署庁舎新築移転（仮庁舎）
	4月	職員新規採用3名（職員数99名） 熊本県消防学校初任科7名入校 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	職員研修会（講師：消防行政懇話会会长 澤田宏氏）
	6月	職員研修会（講師：東京消防庁 田口満穂氏） 東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
	7月	消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足 （ホンダ車5台）

		職員欠員補充1名（職員数100名）
	8月	第26回全国消防救助技術大会出場（千葉市）救援物資搬送
	9月	第3回「救急フェア'97」開催
		熊本県総合防災訓練（錦町にて）
10月		加久藤トンネル防災訓練 東京消防庁派遣実務研修（本庁・品川消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（本庁・深川消防署へ2名）
11月		第8回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催 東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（本庁・大井消防署へ2名） 職員研修会（講師：前錦町長 松田 栄氏） 職員研修会（講師：人吉高校教諭 森 英和氏）
12月		職員研修会（講師：東京消防庁 岡崎 翼氏） 職員研修会（講師：東京消防庁 佐々尾 滋氏）
平成10年	1月	巨人軍柏田投手・柳沢捕手「一日消防長」開催
	2月	東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名）
	3月	第3回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ'98」開催
	4月	職員新規採用3名（職員数103名） 職員欠員補充1名 熊本県消防学校初任科6名入校 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	6月	職員研修会（講師：NTT熊本 高波静子氏）
	7月	九州地区消防救助技術指導会出場（宮崎県日向市）
	8月	職員研修会（講師：熊本トヨタ 山河氏）ハイブリッド車について
	9月	熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町） 第4回「救急フェア'98」開催 職員研修会（講師：東京消防庁 竹内一寿氏）
	10月	東京消防庁派遣実務研修（城東消防署へ2名）
	11月	第9回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催 東京消防庁派遣実務研修（江戸川消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（本庁・池袋消防署へ1名） 東京消防庁派遣実務研修（豊島消防署へ2名）
12月		肥後トンネル防災訓練 消防行政懇話会視察研修（西諸広域行政組合）
平成11年	2月	元巨人軍投手 宮本和知氏を迎えて「一日消防長」開催
	3月	梯子付消防自動車（モリタ30t級）購入、中央消防署に配備 第4回消防組合出初式「メモリアルフェスタ'99」開催 東京消防庁派遣実務研修（小石川消防署へ2名） 原野火災防御訓練 熊本県広域消防応援防災訓練
	4月	熊本県消防学校初任科4名入校 職員2名採用 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	職員研修会（講師：東京消防庁 新井雄治氏）
	6月	職員1名採用 7月 第28回九州地区消防救助技術指導会出場（福岡市）
	8月	第28回全国消防救助技術大会出場（横浜市）複合検索1名 熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町）
	9月	第5回「救急フェア'99」開催
	10月	救急救命九州研修所入所 1名 東京消防庁派遣実務研修（中野消防署1名・荻窪消防署1名） 東京消防庁派遣実務研修（蒲田消防署1名・矢口消防署1名） 消防大学校警防科 1名入校
	11月	相良分遣所を中分署に昇格 東京消防庁派遣実務研修（赤坂消防署1名・高輪消防署1名） 第10回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
12月		水槽車（6,800t） 中央署に配備
平成12年	1月	職員1名採用 東京消防庁派遣実務研修（新宿消防署へ2名）
	3月	第5回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2000」開催
	4月	熊本県消防学校初任科3名入校 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	高規格救急車（ニッサンパラメディック）中分署へ配備
	6月	職員研修会（講師：東京消防庁 長嶋敏昭氏）
	7月	第29回九州地区消防救助技術指導会出場（熊本市）
	8月	第29回全国消防救助技術大会出場（熊本市）水中捜索1チーム

		熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町）
9月		第6回「救急フェア 2000」開催
10月		水槽付ポンプ車（三菱ファイター 8,200cc）北分署に配備 職員研修会（講師：熊本市消防局 橋本 孝氏）
11月		加久藤トンネル防災訓練 第11回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
12月		東京消防庁派遣実務研修（城東消防署へ2名） 職員研修会（講師：NTT東日本 田口満穂氏） 東京消防庁派遣実務研修（八王子消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（豊島消防署へ2名）
平成13年	2月	東京消防庁消防学校入校（予防技術・警防指導へ2名）
	3月	第6回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2001」開催 職員研修会（講師：東京消防庁 岡崎 翼氏） 東京消防庁派遣実務研修（練馬消防署へ2名） 職員研修会（講師：全市議事務総長 佐藤達三氏）
	4月	熊本県消防学校教官出向1名 熊本県消防学校初任科2名入校 消防大学校本科 1名入校
	7月	第30回九州地区消防救助技術指導会出場（沖縄県）
	8月	第30回全国消防救助技術大会出場（東京都）水中結索1チーム 熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町）
	9月	熊本県知事救急功労賞表彰授与 第7回「救急フェア 2001」開催 救助工作車（日野レンジャー 8,000cc）中央署に配備 雑居ビル特別査察実施
	10月	救急救命九州研修所 1名入所
	11月	消防緊急指令装置（Ⅱ型）更新 水槽付ポンプ車（日野レンジャー 7,960cc）日本損害保険協会から寄贈 中央署に配備 第12回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催 東京消防庁派遣実務研修（装備工場へ1名） 沖縄市消防本部へ消防実務研修 1名 沖縄市消防本部より消防実務研修 1名 受け入れ 第27回九州地区消防駅伝大会優勝（於：宮崎市）
平成14年	1月	消防大学校予防科、救急科 各1名入校 東京消防庁派遣実務研修（城東消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（三鷹消防署へ3名） 東京消防庁派遣実務研修（世田谷消防署へ1名） 東京消防庁消防学校入校（建築・設備課程へ1名）
	2月	東京消防庁消防学校入校（査察・防火管理課程へ1名） 職員研修会（講師：東京消防庁 川上克己氏）
	2月	第7回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2002」開催
	3月	東京消防庁派遣実務研修（武蔵野消防署へ2名）
	4月	熊本県消防学校初任科3名入校 消防大学校本科 2名入校 熊本県消防学校教官出向1名
	6月	消防大学校警防科 1名入校
	8月	第31回九州地区消防救助技術指導会出場（大分市） 第31回全国消防救助技術大会出場（名古屋市）水中結索1チーム 熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町）
	9月	第8回「救急フェア 2002」開催
	10月	消防大学校幹部研修科 1名入校 救急救命九州研修所 1名入所 第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練（人吉市） 職員研修会（講師：消防大学校副校長 秋山恵氏）
平成15年	11月	第13回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	1月	消防大学校救急科 1名入校 東京消防庁派遣実務研修（予防実務・麹町消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（西新井消防署へ2名）
	2月	沖縄市消防本部へ消防実務研修 1名 沖縄市消防本部より消防実務研修 1名 受け入れ 東京消防庁派遣実務研修（四谷消防署へ2名） 東京消防庁派遣実務研修（装備工場へ1名） 東京消防庁派遣実務研修（青梅消防署へ2名）
	3月	第8回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2003」開催
	4月	熊本県消防学校教官出向1名 消防大学校本科 2名入校 消防大学校幹部研修科 1名入校

	救急救命九州研修所 1名入所 職員研修会（講師：メンタルケア「こ・こ・ろ」 廣瀬友美氏）
6月	消防大学校警防科 1名入校
7月	第32回九州地区消防救助技術指導会出場（佐賀市）
8月	熊本県消防職員剣道大会（球磨郡錦町） 第32回全国消防救助技術大会出場（仙台市）水中結索1チーム・水中検索救助1チーム
9月	高規格救急車（トヨタハイメディック 3,400cc）西分署へ配備 第9回「救急フェア 2003」開催
10月	消防大学校幹部研修科 1名入校
11月	第14回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 消防大学校危機管理セミナー1名受講 東京消防庁派遣実務研修（石神井消防署へ2名）
12月	熊本県救急教育セミナー開催
平成16年 1月	東京消防庁派遣実務研修（池袋消防署へ2名） 2月 東京消防庁派遣実務研修（荻窪消防署へ2名） 3月 職員研修会（講師：東京消防庁 伊藤克己氏） 消防大学校救急科 1名入校 東京消防庁派遣実務研修（装備工場へ2名） 消防組合発足30周年記念式典及び第9回消防組合出初式「メモリアルフェスタ2004」開催 東京消防庁派遣実務研修（杉並消防署へ2名）
4月	定数条例改正 105名 消防大学校本科 2名入校 救急救命九州研修所 1名入所 熊本県消防学校初任科3名入校 職員研修会（講師：レベッカ・マッカーシー氏・柳田香利氏） 職員研修会（講師：NTTコミュニケーションズ株 宮本昌征氏）
5月	九州地区消防職員意見発表会出場
6月	第33回九州地区消防救助技術指導会出場（鹿児島県国分市）
8月	南九州消防職員親善剣道大会（球磨郡錦町） 第33回全国消防救助技術大会出場（兵庫県三木市） ロープブリッジ救出1チーム・ロープ登はん1名・水中結索1チーム
9月	消防大学校救急科 1名入校 第10回「救急フェア 2004」開催
10月	消防大学校幹部研修科 1名入校 東京消防庁派遣実務研修（赤坂・蒲田消防署へ2名）
11月	第15回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 東京消防庁派遣実務研修（赤坂・蒲田消防署へ2名）
12月	職員研修会（講師：東京消防庁 荒井伸幸氏）
平成17年 1月	第6代消防長 高澤敏雄 就任 消防大学校救急科 1名入校 参議院総務委員会が視察のため来署 消防大学校危機管理セミナー1名受講
3月	第10回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2005」開催
4月	定数条例改正 111名 熊本県防災消防航空隊出向1名 熊本県消防学校初任科3名入校 消防大学校幹部研修科 1名入校
6月	職員研修会（講師：熊本県市町村職員共済組合 年金課長 山下通生氏）
7月	第34回九州地区消防救助技術指導会出場（長崎県長崎市）
8月	第34回全国消防救助技術大会出場（埼玉県さいたま市） ロープブリッジ救出1チーム・水中検索救助1チーム
9月	第11回「救急フェア 2005」開催 職員研修会（講師：都市情報システム研究所 所長 茶谷達雄氏）
10月	消防大学校予防科 1名入校 救急救命九州研修所 1名入所
11月	第16回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
12月	職員研修会（講師：郷土史家 渋谷 敦氏）
平成18年 3月	第11回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2006」開催 4月 熊本県消防学校初任科5名入校 5月 職員研修会（講師：熊本人権センター 中富泰男氏） 6月 消防大学火災調査科 1名入校 7月 第35回九州地区消防救助技術指導会出場（宮崎市） 8月 職員研修会（講師：県議会議員 松田三郎氏） 第35回全国消防救助技術大会出場（札幌市） ロープブリッジ救出・ほふく救出各1チーム・水中結索1チーム
9月	第12回「救急フェア 2006」開催 救急救命九州研修所 1名入所

	10月	消防大学校危険物科 1名入校
	11月	第17回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 職員研修会（講師：菊池広域連合消防本部 高村雅生氏）
平成19年	1月	防災研修車（ニッサンマイクロバス 3,000cc）藤田株式会社から寄贈
	2月	職員研修会（講師：県議会議員 溝口幸治氏）
	3月	第12回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2007」開催
	4月	第7代消防長 竹田文郎 就任 熊本県消防学校初任科7名入校
	5月	全国消防長会総務委員会（人吉市）
	7月	職員研修会（講師：熊本人権センター 中富泰男氏） 第36回九州地区消防救助技術指導会出場（北九州市）
	8月	第36回全国消防救助技術大会出場（東京都）水中結索1チーム
	9月	第13回「救急フェア 2007」開催 消防大学校救急科 1名入校 救急救命九州研修所 1名入所
	10月	職員研修会（講師：人吉市長 田中信孝氏）
	11月	第18回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
平成20年	1月	職員研修会（講師：画家 坂本福治氏）
	2月	職員研修会（講師：東京消防庁 小森身智世氏）
	3月	消防大学校新任教官科 1名入校 職員意見発表会
	4月	第8代消防長 中村俊博 就任 熊本県消防学校派遣教官出向1名 救急救命東京研修所 1名入所
	4月	熊本県消防学校初任科2名入校
	6月	スバル（プレオ 650cc）退職者から寄贈
	7月	第37回九州地区消防救助技術指導会出場（沖縄県北谷町）
	8月	第37回全国消防救助技術大会出場（北九州市）水中結索1チーム・水中検索救助1チーム 熊本県消防学校警防科 2名入校
	9月	第14回「救急フェア 2008」開催 熊本県消防学校救助科 2名入校
	11月	第19回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典 熊本県消防学校初級幹部科 2名入校
平成21年	12月	熊本県消防学校救急科 3名入校
	1月	職員研修会（講師：人吉市文化財保護委員 井上道代 氏）
	2月	城南ブロック消防本部協議会職員特別研修会（講師：熊本市民病院副院長 岳中耐夫 氏）
	3月	職員意見発表会 広報車（日産ティーダ 1,490cc）配備
	4月	第9代消防長 原一幸 就任 熊本県消防学校初任科 3名入校
	7月	第38回九州地区消防救助技術指導会出場（熊本県消防学校）
	8月	第38回全国消防救助技術大会出場（横浜市）水中結索1チーム 消防大学校幹部科1名入校
	9月	第15回「救急フェア 2009」開催 救急救命九州研修所 1名入所
	10月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐賀市嘉瀬川河川敷） 熊本県消防学校救助科 2名入校
	11月	第20回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
	12月	九州地区警防実務研修 1名入校（福岡県消防学校） 熊本県消防学校中級幹部科 2名入校
平成22年	2月	職員研修（講師：人吉市役所 志岐晃 氏）
	3月	職員意見発表会 中央消防署北分署新庁舎落成式
	4月	第10代消防長 犬童利夫 就任 熊本県消防学校初任科6名入校
	7月	第39回九州地区消防救助技術指導会出場（大分市）
	8月	第39回全国消防救助技術大会出場（京都市）ロープブリッジ救出1チーム 消防大学校救助科 1名入校
	9月	第16回「救急フェア 2010」開催 救急救命九州研修所 1名入所
	10月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（薩摩川内市）
	11月	第21回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 熊本県消防学校救助科 2名入校
	12月	久七トンネル訓練（伊佐市久七TN内）
平成23年	1月	熊本県消防学校救急科 3名入校
	3月	職員意見発表会

	東日本大震災緊急援助隊現地派遣1、2次隊 10名 (宮城県仙台市 若林区、宮城野区)
4月	東分署及び北分署に高規格救急車（トヨタハイメディック 2,690cc）配備 第11代消防長 梶木孝至 就任 熊本県防災消防航空隊出向1名
6月	熊本県消防学校初任科9名入校 職員研修会（講師：元神戸市消防局 中谷満 氏） 予防查察車（日産ティーダ 1,490cc）配備
9月	第17回「救急フェア 2011」開催 救急救命九州研修所 1名入所
10月	熊本県消防長会秋季総会（人吉市） 熊本県消防学校中級幹部科 2名入校 消防大学校警防科 1名入校 消防大学校火災調査科 1名入校 消防大学校幹部科 1名入校
11月	第22回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 熊本県消防学校救助科 2名入校
平成24年 1月	熊本県消防学校救急科 3名入校
3月	職員意見発表会 職員研修会（講師：東京消防庁 竹泉聰 氏） 久七トンネル訓練（伊佐市久七TN内）
4月	第12代消防長 中村憲和 就任 熊本県消防学校初任科3名入校
5月	消防大学校危険物科 1名入校
6月	消防大学校幹部科 1名入校 第41回九州地区消防救助技術指導会出場（日置市）
7月	消防大学校予防科 1名入校
8月	第18回「救急フェア 2012」開催 救急救命九州研修所 1名入所
9月	熊本県消防学校救助科 2名入校 第23回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
10月	熊本県消防学校警防科 2名入校
11月	熊本県消防学校初級幹部科 2名入校 第21回全国救急隊員シンポジウム一般発表
平成25年 1月	職員意見発表会 資器材搬送車（三菱キャンター 2,990cc）総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備
2月	職員研修会（講師：高崎市等広域消防局 田中治夫 氏） 消防救急デジタル無線（共通波）開局式
3月	第13代消防長 富田清一 就任 定数条例改正 109名
4月	熊本県消防学校初任科 5名入校 消防大学校救急科 1名入校
5月	消防大学校幹部科1名入校 第19回「救急フェア 2013」開催
6月	救急救命九州研修所 1名入所 熊本県消防学校初任科 5名入校
9月	消防大学校警防科 1名入校 熊本県消防学校救助科 2名入校
10月	高速道路トンネル（加久藤）防災訓練 久七トンネル防災訓練
11月	第24回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
平成26年 1月	指定文化財査察（10年毎） 熊本県消防学校救急科 5名入校
3月	職員研修会（講師：熊本大学副学部長 鈴木桂樹 氏） 中央署に高規格救急車（トヨタハイメディック 2,690cc）配備 消防大学校新任教官科 1名入校 熊本県消防学校特殊災害科 2名入校
4月	熊本県消防学校初任科 4名入校 熊本県消防学校教官出向1名 消防大学校救助科 1名入校 救急救命東京研修所 1名入所
5月	人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典 事務連絡車（スバルインプレッサ 1,990cc）配備
6月	消防大学校幹部科第37期 1名入校 警防業務リーダー講習会 1名
9月	第20回「救急フェア 2014」開催 救急救命九州研修所 1名入所

平成27年	10月	熊本県消防学校救助科第35期 2名入校
	11月	第25回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
	1月	熊本県消防学校救急科 5名入校
	2月	熊本県消防学校初級幹部科 2名入校
	3月	職員研修会（人吉下球磨：土肥和浩 水俣芦北広域：松本光義 八代広域：上田晶） 中央署にCAFS（日野レンジャー 6,400cc）配備 消防救急デジタル無線（活動波）開局式
	4月	第14代消防長 中山哲臣 就任 消防救急デジタル無線（活動波）運用開始 定数条例改正 110名 救急救命九州研修所 1名入所
		熊本県消防学校初任科 6名入校
	6月	熊本県消防学校幹部科 1名入校
		熊本県消防学校予防査察科 2名入校
	8月	熊本県消防学校予防科 1名入校 第44回全国消防救助技術大会出場（神戸市）基本泳法
平成28年	9月	第21回「救急フェア 2015」開催 救急救命九州研修所 1名入所
		熊本県消防学校初任科 3名入校
	10月	熊本県消防学校救助科 2名入校
	11月	第26回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
	1月	熊本県消防学校救急科 3名入校
	4月	熊本県消防学校初任科 3名入校 熊本地震発生 平成28年熊本地震緊急援助隊現地派遣 1、2次隊（14名）
		熊本県相互応援協定に基づく救急隊応援出動 1、2次隊（6名）南阿蘇村
	6月	平成28年熊本地震災害ボランティア 御船町 消防大学校幹部科 1名入校
	7月	消防大学校危険物科 1名入校
	9月	救急救命九州研修所 1名入所
平成29年	11月	第27回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催 熊本県消防学校救助科 2名入校
		熊本県消防学校初級幹部科 2名入校 中分署に高規格救急車を配備
	1月	熊本県消防学校救急科 3名入校 東分署にタンク車（日野デュトロ 4,000CC）配備

◆ 消防組合の組織

組合執行機関

組合議会

監査委員

管理 者
代表副管理者
副 管理者

議長
副議長
議員

知識経験者
議会選出者

山江村長

人吉市 3人

錦町 1人

人吉市長

錦町 1人

五木村 1人

錦町長

相良村 1人

相良村長

五木村 1人

五木村長

山江村 1人

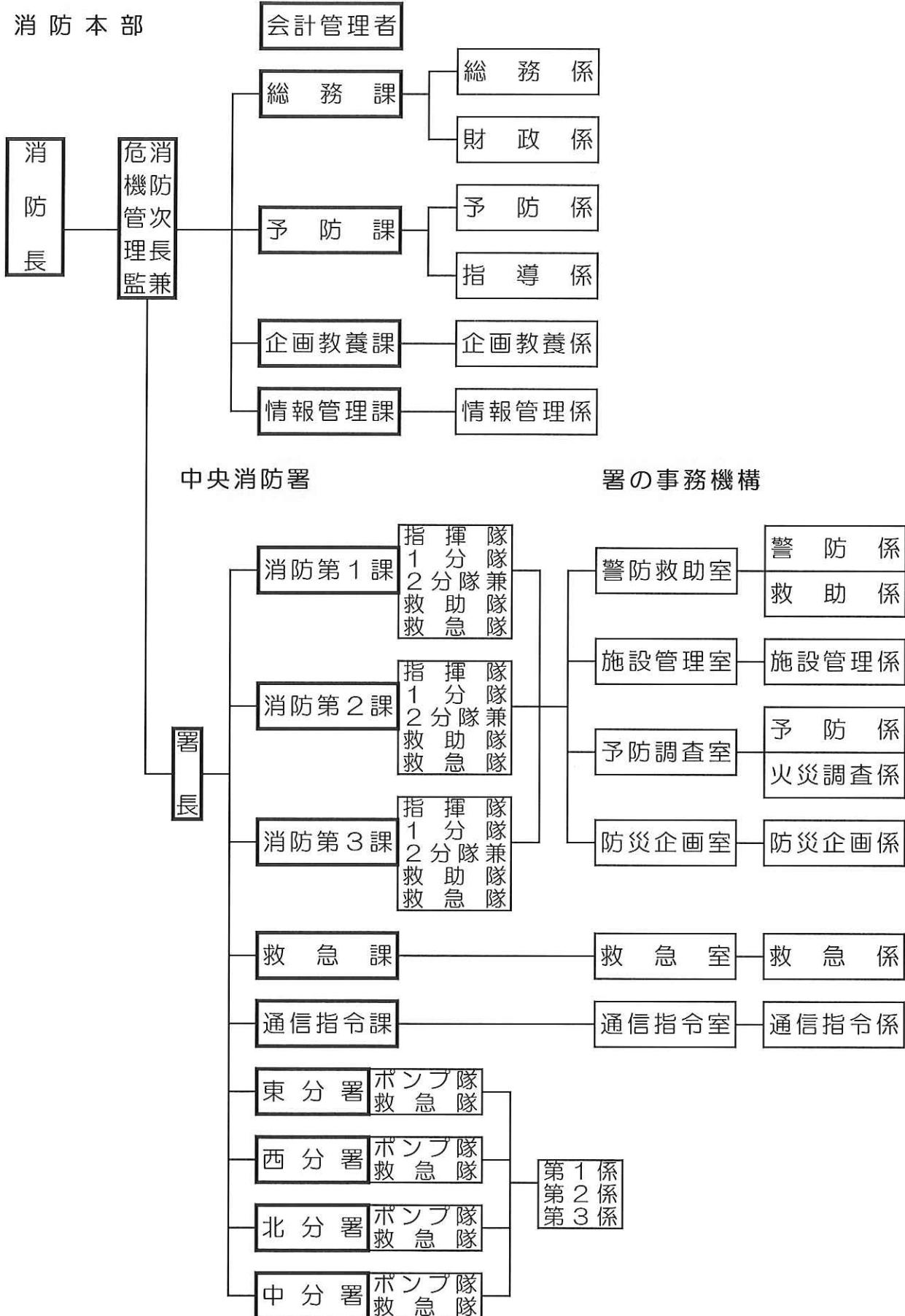
球磨村長

球磨村 1人

※建制順

◆ 消防本部及び署の組織

平成29年4月1日



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

総務課	総務係	1 本部及び消防署の組織に関すること。
		2 公印に関すること。
		3 職員の任免、服務、賞罰及び人事に関すること。
		4 議会に関すること。
		5 文書の収発及び図書に関すること。
		6 職員の福利厚生、共済その他保健に関すること。
		7 消防賞じゅつに関すること。
		8 条例、規則及び規程等の整備に関すること。
		9 庁舎の維持管理に関すること。
		10 物品及び貸与品に関すること。
		11 寄附の採納に関すること。
		12 公告式に関すること。
		13 その他総務一般に関すること。
財務課	財務係	1 監査に関すること。
		2 予算、決算に関すること。
		3 地方債に関すること。
		4 地方交付税に関すること。
		5 財政状況の公表に関すること。
		6 貢産の取得、処分及び管理に関すること。
		7 契約に関すること。
		8 組合経費に関すること。
		9 給与の計算及び支給に関すること。
		10 出納事務に関すること。
		11 その他財政一般に関すること。
予防課	予防係	1 予防査察に関すること。
		2 危険物の許可、認可及び指導取締りに関すること。
		3 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
		4 消防法第9条の3に係る届出及び液化石油ガスの貯蔵取扱に係る意見書に関すること。
		5 火薬類取締法に基づく煙火の消費に係る事務に関すること。
		6 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関すること。
		7 その他予防指導に関すること。

予防課	指導係	<ul style="list-style-type: none"> 1 防火対象物の立入検査及び措置命令に関すること。 2 防火対象物の防火管理の指導に関すること。 3 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。 4 防火管理者の講習及び教育指導に関すること。 5 消防用設備等に関すること。 6 家庭防火班の育成指導に関すること。 7 防火思想の普及指導及び広報に関すること。 8 課内の他係に属しないこと。
企画教養課	企画教養係	<ul style="list-style-type: none"> 1 式典、儀礼等の企画に関すること。 2 陳情、請願及び投書の処理に関すること。 3 表彰に関すること。 4 消防行政の企画及び調整に関すること。 5 職員の研修教養に関すること。 6 年報に関すること。 7 広報並びに広聴に関すること。 8 防災計画及び訓練計画等の作成に関すること。 9 消防相互応援及び出動計画に関すること。 10 職員の福利厚生等の立案企画に関すること。 11 消防長会及び消防協会に関すること。 12 消防連絡協議会に関すること。 13 防火委員会に関すること。 14 幼少年、婦人消防クラブ等の育成及び指導に関すること。 15 その他企画教養一般に関すること。
情報管理課	情報管理係	<ul style="list-style-type: none"> 1 情報公開の開示に関すること。 2 情報システムの維持管理に関すること。 3 消防情報の収集、記録、広報及び連絡調整に関すること。 4 情報技術の指導及び調査研究に関すること。 5 消防統計に関すること。 6 気象情報、災害情報に関すること。 7 救急医療情報に関すること。 8 国、県及び市町村の災害情報等に関すること。 9 その他情報管理一般に関すること。

2 消防署の事務分掌

消 防 防 課	警 防 救 助 室	警 防 係	1 防災計画に関すること。 2 防災警備に関すること。 3 消防演習その他消防訓練に関すること。 4 消防地理及び水利に関すること。 5 その他警防業務一般に関すること。
	救 助 係		1 救助業務に関すること。 2 救助技術の研究、指導及び訓練に関すること。 3 消防隊員の安全管理に関すること。 4 特殊災害の調査及び研究に関すること。
施 設 管 理 室	施 設 管 理 係		1 消防機器等の補充、改善及び研究並びに維持管理に関すること。 2 消防機器等の整備計画及び整備に関すること。 3 庁舎の維持管理及び補修に関すること。 4 消防自動車等の登録及び検査に関すること。 5 消防用燃料に関すること。 6 機関員の技能管理に関すること。
予 防 調 査 室	予 防 係		1 防火対象物の予防査察に関すること。 2 予防関係諸届出の指導に関すること。 3 危険物及び指定可燃物の保安取締に関すること。 4 自衛消防隊の指導育成に関すること。 5 火災予防対策に関すること。 6 劇場等の定員規制及び予防警備に関すること。 7 その他予防業務一般に関すること。
	火 災 調 査 係		1 火災の原因及び損害の調査に関すること。 2 火災報告及び火災統計に関すること。 3 り災証明に関すること。 4 その他火災調査業務一般に関すること。

消防課	防災企画室 防災企画係	1 消防、防災の相談及び指導に関すること。 2 消防広報に関すること。 3 自主防災組織の指導育成に関すること。 4 防災学習の指導に関すること。 5 消防職員及び団員の訓練に関すること。 6 消防職員の教養研修に関すること。 7 職場体験学習に関すること。 8 情報システムの維持管理及び整備に関すること。 9 消防情報の部内調整に関すること。 10 災害情報の収集及び記録に関すること。 11 情報技術の研究に関すること。
救急課	救急室 救急係	1 救急業務に関すること。 2 救急隊の運用計画及び訓練に関すること。 3 救急隊の安全対策に関すること。 4 救急技術の調査及び研究に関すること。 5 救急報告及び救急統計に関すること。 6 応急手当の普及に関すること。 7 医療関係機関との連絡調整に関すること。 8 地域メディカルコントロール協議会に関すること。 9 その他救急事務一般に関すること。
通信指令課	通信指令室 通信指令係	1 消防通信施設等の整備及び維持管理に関すること。 2 通信技術の指導に関すること。 3 消防通信の受理及び連絡に関すること。 4 出動の指令に関すること。 5 消防気象に関すること。 6 警報の発令に関すること。 7 その他通信業務一般に関すること。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

	総 計	消防監	消防 司令長	消 防 司 令	消 防 司 令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 計	108	1	4(4)	15	22	15	17(1)	34
消防本部	計	19(5)	1	3(4)	3	3	3(1)	6
	消防長	1	1					
	消防次長	1		1				
	危機管理監	(1)		(1)				
	首席審議員	2		2				
	会計管理者	(1)		(1)				
	総務課 (含総務課付)	10			2	1	1	6
	予防課	4			1	2		1
	企画教養課	1(1)		(1)				1
	情報管理課	(2)		(1)			(1)	
中央消防署	計	89		1	12	19	15	14
	署長	1		1				
	首席審議員							
	副署長							
	中央署	52			7	12	7	9
	東分署	9			2	1	3	
	西分署	9			1	2	2	1
	北分署	9			1	2	2	1
	中分署	9			1	2	1	3

※ () は兼務

勤続年数別職員数

◆ 年齢別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	消 防 司 令 長	消 防 監
合 計	108	34	17	15	22	15	4	1
平均(年齢)	34	23.12	27.88	33.8	40.05	48.8	58.25	59
18	1	1						
19	1	1						
20	6	6						
21	5	5						
22	1	1						
23	6	6						
24	5	4	1					
25	5	2	3					
26	3	3						
27	5	3	2					
28	4	1	3					
29	5		5					
30	5		2	3				
31	2	1		1				
32	1		1					
33	3			3				
34	3			3				
35	3			1	2			
36	2			2				
37	4			1	3			
38	1				1			
39	6				6			
40	2				2			
41	3			1	2			
42								
43	2				2			
44	3				1	2		
45	2				2			
46	4				1	3		
47	3					3		
48	1					1		
49								
50	1					1		
51	1					1		
52								
53	1					1		
54	2					2		
55	1					1		
56								
57	1						1	
58	1						1	
59	3						2	1

◆ 消防予算

【歳 入】

	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
分担金及び負担金	895,880	91.40	918,833	89.55
使用料及び手数料	649	0.07	649	0.06
国 庫 支 出 金	1	0.00	1	0.00
県 支 出 金	0	0.00	0	0.00
寄 付 金	1	0.00	1	0.00
諸 収 入	6,502	0.66	7,424	0.72
組 合 債	73,000	7.45	95,000	9.26
財 産 収 入	153	0.02	121	0.01
繰 入 金	1	0.00	1	0.00
繰 越 金	4,000	0.41	4,000	0.40
歳 入 合 計	980,187	100	1,026,030	100

【歳 出】

	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人 件 費	697,353	71.14	719,312	70.11
物 件 費	62,796	6.41	64,888	6.32
維 持 補 修 費	3,801	0.39	8,400	0.82
扶 助 費	14,100	1.44	14,325	1.40
補 助 費 等	3,794	0.39	3,706	0.36
普 通 建 設 事 業 費	73,000	7.45	95,000	9.26
公 債 費	123,189	12.57	118,278	11.53
積 立 金	154	0.02	121	0.01
予 備 費	2,000	0.20	2,000	0.19
歳 出 合 計	980,187	100	1,026,030	100

◆ 職員の教育実施状況

1 消防学校及び消防大学校入校

	昭和53年から平成18年までの合計	平成(年度)										計	
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
熊本県消防学校	初任科	66	7	2	3	6	9	3	10	4	9	3	122
	初級幹部科	20		2		2		2		2		2	30
	警防科	28		2		2		2		2			36
	救助科	48	2	2	2	2	2	2	2	2	2		68
	予防科	34											34
	危険物科	2		2			2			2			8
	予防検査科			2		2		2		2			10
	救急科	89	4	3	3	3	3	3	5	5	3	3	124
	指導員科	30		2		2		2					36
	火災調査科	24	2			2							28
	特殊災害科	2	2		2		2		2				10
	中級幹部科	2	2		2		2		2		2		12
	上級幹部科	2			2								4
	気管挿管講習	3	2	2	2		2	2	2	2			17
	計	350	23	17	18	19	24	16	25	19	18	10	539

消防大学校	幹部科	10			1		1	1	1	1	1	1	17
	警防科	8					1		1				10
	予防科	7						1			1		9
	危険物科	1						1				1	3
	救急科	7	1						1				9
	救助科	2				1				1			4
	火災調査科	1					1						2
	新任教官科	1	1						1				3
	違反是正特別講習			1						1			2
	計	37	2	1	1	1	3	3	4	3	2	2	59

2 救急救命士資格・気管挿管認定・薬剤投与認定取得状況

	昭和53年から平成18年までの合計	平成(年度)										計
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
救急救命士	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	24
気管挿管	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	26
薬剤投与	1	6	5	3	2	1	2	1	1	2	2	26

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

階級別 職員数	合	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	計							
資格別	108	1	4	15	22	15	17	34
自動車免許	大型 2種	0						
	大型 1種	84		3	15	21	15	14
	大型 特殊	5			4			1
	中型	6				1		3
	普通 1種	108	1	4	15	22	15	34
	自動二輪	54		1	12	15	8	12
	けん引	1			1			
その他の免許・資格	特殊無線技士	103	1	4	15	22	15	17
	アマチュア無線技士	11		1	6	4		
	潜水士	77		2	15	21	13	16
	小型船舶操縦士	37		3	10	12	10	1
	救助課程修了者	36		1	10	11	11	3
	救急救命士	33	1	1	5	8	6	4
	救急標準課程修了者	58		3	14	21	11	8
	救急Ⅱ課程修了者	9	1	3	5			
	救急Ⅰ課程修了者	4	1	2	1			
	応急手当指導員	85	1	4	15	22	14	16
	衛生管理者(第1種)	2				2		
	甲種危険物取扱者	3				1	1	1
	乙種危険物取扱者	82		2	12	20	15	16
	甲種消防設備士	1					1	
	乙種消防設備士	30			6	16	7	1
	消防設備点検資格者	0						
	酸素欠乏危険作業主任者	26		1	5	7	8	5
	特定化学物質等作業主任者	5				2	3	
	火薬取扱主任者	1			1			
	ガス溶接士	21		1	3	2	8	4
	クレーン(5t未満含む)	53		2	10	15	14	10
	玉掛け技能者	44		1	9	10	11	9
	電気工事士	8		2	2		3	
	チーンソー教育	18			1	3	7	3
	予防技術検定(危険物)	9			2	4	2	
	予防技術検定(設備)	4			1	2	1	
	予防技術検定(査察)	28			6	8	6	4
	航空特殊無線技士	2			1	1		

消防活動



◇ 消防用車両配置状況

	車両名	車種名	型式	排気量	年式	無線呼出
本部	指揮2号車	トヨタマークII	E-GX90	1,980cc	H 5	人消中央32
	事務連絡車	スバルインプレッサ	DBA-GP6	1,990cc	H 26	
	予防査察車	ニッサンティーダ	DBA-C11	1,490cc	H 23	
	広報車	ニッサンティーダ	DBA-SC11	1,490cc	H 21	
	司令車	トヨタクラウン	GH-JZS171	2,490cc	H 12	
	防災研修車	ニッサンキャラバン	KR-DWMGE25	2,950cc	H 19	
	事務連絡2号車	スバルプレオ	LE-RV1	650cc	H 20	
中央署	水槽車	三菱	U-FP418H	11,140cc	H 2	人消中央14
	化学車	三菱ファイター	KC-FK618GZW改	8,200cc	H 9	人消中央13
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	6,400cc	H 27	人消中央11
	2号車	いすゞELF	U-NKS58GR改	3,630cc	H 5	人消中央12
	梯子車	日野プロフィア	KC-FH2KLEA	13,260cc	H 11	人消中央52
	救助工作車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA改	7,960cc	H 13	人消中央51
	災害救援車	日産シビリアン	KK-BJW41	4,160cc	H 11	
	指揮1号車	トヨタハイエース	GE-RZH112V	1,990cc	H 11	人消中央31
	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 26	人消中央1
	救急2号車	日産パラメディック	GE-FLGE50	3,270cc	H 12	人消中央2
	救急3号車	トヨタハイメディック	GB-UZH132S	3,960cc	H 12	人消中央3
	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H 25	人消中央53
	赤バイ1号	ホンダ	MD 31	250cc	H 9	
	赤バイ2号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ3号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ4号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ5号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ6号	ホンダ	MC 34	223cc	H 15	
	小型搬送車	ダイハツ	EBD-S510P	650cc	H 28	
東分署	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H 29	人消東11
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 23	人消東1
	広報車	日産アベニール	R-VIEW10改	1,590cc	H 3	人消東31
西分署	タンク車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA改	7,960cc	H 13	人消西11
	高規格救急車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H 15	人消西1
	広報車	日産AD	E-WFNY10改	1,490cc	H 4	人消西31
北分署	タンク車	三菱ファイター	KK-FK61HE	8,200cc	H 12	人消北11
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 23	人消北1
	広報車	日産AD	E-WFNY10改	1,490cc	H 7	人消北31
中分署	タンク車	日野レンジャー	U-FD3HEAA改	7,410cc	H 7	人消中11
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 28	人消中1
	広報車	日産AD	GJ-VFY11	1,490cc	H 12	人消中31

◇ 消防用特殊資機材保有状況

品名・規格	数量	配置部署				
		中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救助器具	滑車	10	9		1	
	緩降機 20m未満	0				
	20m以上	3	3			
	金属製鍵付き梯子	1	1			
	複連はしご三連式	3	2		1	
	安全マット	4	4			
	救命索発射銃	2	2			
	安全バンド	16	16			
	縛帯	10	7	1	1	1
	ソフトランディング	2	2			
	山岳救助資機材一式	1	1			
	ロープ登攀器	1	1			
保安用具	空気呼吸器	26	14	3	3	3
	耐熱服	0	0			
	防毒服	5	5			
破壊用具	エンジンカッター	5	1	1	1	1
	チェーンソー	10	3	2	1	3
	ガス溶断器	1	1			
	万能斧	18	8	3	3	2
	レスキューツール	2	2			
	エアーソー	2	2			
	エアーカッター	1	1			
	クリッパー	10	3	2	2	1
水難救助用具	ヘルメット	10	8		2	
	PFD	7	5		2	
	救命胴衣	89	71	5	5	5
	スローバック	10	4	1	3	1
	救命浮環	19	15	1	1	1
	救命ボート	4	4			
	船外機	4	4			
	潜水器具一式	7	7			
測定器	有毒ガス測定器	3	3			
	可燃性ガス測定器	3	3			
	炭化測定器	3	1	1	1	
	酸素濃度測定器	3	3			
	放射温度計	5	1	1	1	1
	放射線個人線量計	5	5			
	中性子線量率計	1	1			

品名・規格		数量	配置部署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救急用機材	自動式人工呼吸器(オートベント含)	6	2	1	1	1	1
	電動式吸引器	10	4	2	1	2	1
	マジックギブス(全身)	4	1		1	1	1
	マジックギブス(部分)	7	3	1	1	1	1
	訓練用人形	26	22	1	1	1	1
	自動体外式除細動器	6	2	1	1	1	1
	輸液ポンプ	1			1		
	ショックパンツ	4	1		1	1	1
	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアーテント(多数傷病者救護所)	1	1				
その他	オゾン殺菌脱臭機	2	1			1	
	投光器	8	3	1	1	1	2
	メタルハライドランプ	5	3			1	1
	携帯用発電機	15	9	1	1	2	2
	携帯用拡声器	15	8	2	1	2	2
	ポートパワー	1				1	
	ジェットシューター	29	10	4	5	5	5
	ジェットシューター給水器	2	1			1	
	可搬消防ポンプ	7	3	1	1	1	1
	チルホール	2	2				
その他	張力計	2	2				
	耐電	服	3	3			
	手袋	11	4	2	1	2	2
	長靴	4	4				
	バスケットストレッチャー	2	2				
	エアーコンプレッサー	5	1	1	1	1	1
	背負い式ホース器	2	1			1	
	高発泡器	2	1	1			
	低発泡器	4	1			1	2
	記録用力カメラ	15	10	1	1	1	2
その他	空気充填設備	1	1				
	暗視力カメラ	1	1				
	画像伝送システム	1	1				
	映写機	0					
	林野火災用動力噴霧器	1	1				
	// 貯水槽(250L)	1	1				
	角スコップ	130	25	28	28	27	22
	剣スコップ	139	61	21	20	19	18
	かけや	4	1	1		1	1

◆ 消防水利

市町村		人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	計
種別								
消火栓	基準適合	372	84	53	1	78	43	631
	基準適合外	173	208	86	23	11	79	580
	小計	545	292	139	24	89	122	1,211
防火水槽	20m³未満	10	116	49	9	5	51	240
	20m³以上40m³未満	100	17	5	0	11	11	144
	40m³以上60m³未満	159	123	85	46	75	28	516
	60m³以上100m³未満	0	1	2	0	0	1	4
	100m³以上	0	1	1	0	0	1	3
	小計	269	258	142	55	91	92	907
	ピール	16	6	4	3	3	9	41
計		830	556	285	82	183	223	2,159

平成29年4月

◇ 救助業務

1 救助の概要

年 別		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
種 別						
火 災	出場件数	1		1		
	活動件数	1		1		
	救助人員	0		0		
交 通 事 故	出場件数	25	20	26	21	16
	活動件数	13	5	15	13	11
	救助人員	16	6	18	15	14
水 難 事 故	出場件数	4		4	3	3
	活動件数	4		1	3	2
	救助人員	1		1	6	2
風 水 害 等 自 然 灾 害	出場件数	4			1	
	活動件数	4			1	
	救助人員	6			0	
機 械 に よ る 事 故	出場件数	2	2	1	1	1
	活動件数	0	2	0	1	1
	救助人員	0	2	0	1	1
建 物 等 に よ る 事 故	出場件数	1			1	
	活動件数	1			1	
	救助人員	1			1	
ガス及び 酸欠事故	出場件数	1				
	活動件数	0				
	救助人員	0				
爆 発 事 故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他 の 事 故	出場件数	10	7	12	6	4
	活動件数	6	4	5	4	3
	救助人員	6	4	5	4	3
総 計	出場件数	48	29	44	33	24
	活動件数	29	11	22	23	17
	救助人員	30	12	24	27	20

2 救助技術大会出場の変遷

平成12年～平成28年

出 場 年	出 場 種 目	九 州 地 区 指 導 会	全 国 大 会	備 考
平成12年	ロープ登はん	1 名		陸上の部
	複合検索	1 名		
	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
平成13年	ロープ登はん	1 名		陸上の部
	引揚救助	1 チーム		
	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
平成14年	ロープブリッジ救出	2 チーム		陸上の部
	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
平成15年	ロープ登はん	1 名		
	ロープブリッジ救出	2 チーム		
	引揚救助	1 チーム		
	ほふく救出	1 チーム		
	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
平成16年	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	
	ロープ登はん	1 名	1 名	陸上の部
	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	
	引揚救助	1 チーム		
	ほふく救出	1 チーム		
平成17年	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム		
	ロープ登はん	1 名		陸上の部
	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	
平成18年	ほふく救出	1 チーム		
	水中結索	1 チーム		
	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	水上の部
	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	陸上の部
平成19年	ほふく救出	県大会1位通過 全国決定	1 チーム	
	引揚救助	1 チーム		
	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
平成20年	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	
平成21年	ロープブリッジ救出	1 チーム		陸上の部
	水中結索	県大会1位通過 全国決定	1 チーム	水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	陸上の部
平成23年	東日本大震災により大会中止			
平成24年	引揚救助	1 チーム		陸上の部
平成25年	—	—	—	—
平成26年	—	—	—	—
平成27年	基本泳法	県大会2位通過 全国決定	1 名	水上の部
平成28年	人命救助	熊本地震により県大会中止 各本部割り当てで全国決定	1 チーム	水上の部

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

火災種別 原因別	建 物 火 灾			林 野 火 灾	車 両 火 灾	そ の 他 の 火 灾	爆 発	合 计
	専共併 用同用	倉 庫 ・ 畜 舎 ・ 納 屋	工 场 ・ 其 他 ・ 学 校 ・ 饮 食 店 铺 ・					
火 入 れ				2		2		4
放 火								0
放 火 の 疑 い								0
た き 火						1		1
焼 却 火								0
た ば こ						1		1
火 遊 び						1		1
こ ん ろ								0
マ ラ ツ イ チ タ 一								0
溶 接 機 溶 断 器		1						1
ス ト ー ブ								0
配 線 器 具	1							1
電 气 機 器			1		1			2
ボ イ ラ 一						1		1
電 气 装 置					1	1		2
排 气 管								0
風 呂 か ま ど	1	1						2
そ の 他		1			1	1		3
不 明 ・ 調 査 中								0
合 计	2	3	1	2	3	8	0	19

2 火災出場状況

平成二十九年度全国統一防火標語

火の用心

ことばを形に

習慣に

焼損面積		林野 (a)	罹災世帯数	罹災人員	死者数	負傷者数	損害額 (千円)
建物(m ²)	床面						
642	58	143	8	18	1	2	7,847
1,285	253		8	32		5	52,777
25	7	1	5	13			2,155
99	11	5	4	12			1,668
							271
	6		2	8			349
99			2	4			641
							301
		3					
		2					
							57
	2						10
	3						39
99	3	3	2	4			1,127
	5	2	1	6			290
	3		1	2			50
							201

◆ 救急統計

1 救急の概要

区分 月 別	出場件数	搬送人員	救急事故種別（出場件数）		
			火 災	自然災害	水 難
H25年(2013)	2,609	2,461	6		
H26年(2014)	2,733	2,552	14		3
H27年(2015)	2,764	2,610	6	2	2
<hr/>					
H28年(2016)	2,838	2,701	3	1	3
1 月	261	255	1		
2 月	227	221			
3 月	259	237	1		
4 月	211	201		1	
5 月	221	209			
6 月	198	193			1
7 月	268	259			
8 月	265	255			
9 月	220	209			
10 月	236	220			2
11 月	213	199			
12 月	259	243	1		
<hr/>					
人吉市	1,748	1,664	2	1	1
錦町	500	491	1		
相良村	170	157			
五木村	69	67			
山江村	112	109			
球磨村	205	190			2
高速道路	27	20			
管轄外	7	3			

救急事故種別（出場件数）

交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 傷	自損行為	急 病	その他
227	19	23	348	19	31	1,641	295
221	48	28	364	11	23	1,751	270
213	24	24	428	7	39	1,778	241
196	40	31	412	6	29	1,824	293
18	6	2	30		2	183	19
6	1		33		3	163	21
19	1	3	32		6	167	30
10	1	1	22		4	147	25
13	1	4	36	1	5	139	22
17	1	2	25		1	127	24
26	4	6	41	1	2	162	26
11	12	5	33	3	1	171	29
17	6	2	31		1	134	29
25	3	3	49	1	4	129	20
12	2	2	35			145	17
22	2	1	45			157	31
99	18	19	249	5	15	1,099	240
50	7	6	72	1	4	338	21
17	4	2	23		1	110	13
1	4		12		1	42	9
3	1	4	22		3	77	2
13	5		34		5	142	4
11						15	1
2	1					1	3

2 曜日別・時間別救急出場件数

平成28年中

区分	事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計		2,838	3	1	3	196	40	31	412	6	29	1,824	293
曜日	日	416	1			18	4	10	65	3	3	286	26
	月	460	1			21	6	2	68		6	289	67
	火	378			1	21	8	1	56		7	241	43
	水	396	1		1	34	2	7	59	2	3	243	44
	木	360				32	9	5	44		5	236	29
	金	428			1	41	7		53	1	3	280	42
	土	400		1		29	4	6	67		2	249	42
時間別	0~2	132	1	1		2			16		2	97	13
	2~4	101				4			8		2	79	8
	4~6	106				7			10			81	8
	6~8	236			1	15	1		31	1	3	174	10
	8~10	341				22	10	5	56		1	217	30
	10~12	332				16	4	13	47		3	186	63
	12~14	271			2	19	7	4	34		2	168	35
	14~16	333				38	10	2	48		3	199	33
	16~18	277	2			23	6	5	44		7	156	34
	18~20	308				24	1	1	55	3	4	192	28
	20~22	235				17		1	40	1	1	158	17
	22~24	166				9	1		23	1	1	117	14

3 救急事故種別搬送状況

平成28年中

区分	種別	合計	事 故 種 別										不搬送
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	
出場件数		2,838	3	1	3	196	40	31	412	6	29	1,824	293
傷病搬送件数		2,670		1		168	38	31	400	6	18	1,755	253
搬送人員	男	1,345		1		100	34	21	191	2	7	864	125
	女	1,356				92	4	10	213	4	11	894	128
	計	2,701	0	1	0	192	38	31	404	6	18	1,758	253

4 傷病程度別搬送人員

平成28年中

区分	種別	合計	事 故 種 別										
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	
死亡		2										2	
重症		217				9	2		16	1	3	111	75
中等症		1,506				59	19	11	206	1	12	1,026	172
軽症		976		1		124	17	20	182	4	3	619	6
その他		0											
合計		2,701	0	1	0	192	38	31	404	6	18	1,758	253

5 救急隊員が行った応急処置件数

平成28年中

項目	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	その 他	合 計
対 象 人 員		1,758	191	402	338	2,689
止 血		11	8	54	13	86
固 定		11	129	48	24	212
人 工 呼 吸		15		4	2	21
心 マ ッ サ 一 ジ		13		2	2	17
心 肺 蘇 生		49	1	3	5	58
酸 素 吸 入		360	18	29	90	497
気 道 確 保		82	2	7	10	101
(うち経鼻エアウェイ)		6		2		8
(うち喉頭鏡・鉗子等)				2		2
(うちラシングアルマスク等)		4				4
(うち気管挿管チューブ)		2		1	1	4
保 温		587	33	109	113	842
被 覆		13	36	103	19	171
在 宅 療 法 繼 続		8			1	9
シ ョ ツ ク パ ン ツ						0
除 細 動		7		1		8
静 脈 路 確 保		11	1	2	1	15
薬 剤 投 与		8			2	10
血 壓 測 定		1,662	186	378	306	2,532
聴診器(心音・呼吸音)聴取		85	35	18	10	148
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		1,690	188	392	320	2,590
心 電 図 モ ニ タ ー		978	25	73	106	1,182
そ の 他 の 応 急 処 置		902	47	179	118	1,246
合 計		6,504	709	1,407	1,143	9,763

6 医療機関別搬送状況

平成28年中

医 療 機 関										合	
救 急 告 示 医 療 機 関					その他の医療機関					合	
国 ・ 公 立	公 的	私 的		小	国 ・ 公 立	私 的		小	その 他の 場 所		
		病	診			病	診				
		院	療	計	院	院	所	計		計	
38	2,076	469	1	2,584	5	7	42	62	116	1	2,701

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基 地 局	6局
固 定 局	3局
陸 上 移 動 局	37局 (車載型 24局 / 携帯型 12局 / 卓上型 1局)
無 線 種 別	活 動 波 1
	活 動 波 2
	主 運 用 波
	統 制 波 1
	統 制 波 2
	統 制 波 3

無 線 従 事 者 特殊無線技士 103名 (航空特殊無線技士2名含)
 ≪1級陸上(1名) 2級陸上(47名) 3級陸上(55名) 航空特殊(2名) ≫

消防本部・中央消防署 ひとしょうほんぶ 固定局 10W 陸上移動局 車載型 10W 12局 携帯型 1W 8局	中央消防署東分署 ひとしょうひがし 陸上移動局 車載型 10W 3局 携帯型 1W 1局	中央消防署西分署 ひとしょうにし 陸上移動局 車載型 10W 3局 携帯型 1W 1局
中央消防署北分署 ひとしょうきた 陸上移動局 車載型 10W 3局 携帯型 1W 1局	中央消防署中分署 ひとしょうなか 陸上移動局 車載型 10W 3局 携帯型 1W 1局	高塚山 ひとしょうたかつかやま 基地局 10W 固定局 10W
八原 ひとしょうやつはる 基地局 10W 固定局 10W	球磨村役場 ひとしょうくまむらやくば 基地局 10W	一般国道トンネル しょうぼう きゅうしちとんねる 基地局 20W
高速道路トンネル ひとしょうひごとんねる 基地局 20W ひとしょうかくとう 基地局 10W		

2) アナログ無線 陸上移動局 (携帯型 署活系無線機 1W) 5局

2 通報統計

(1) 時間別着信状況

2016年中

種別 時間	火災	救急・ 救助	その他 災害	試 験	間違い	その他	いた ずら	問合せ	通報 訓練	計
0	0	56	1	0	1	9	0	5	0	72
1	0	53	1	0	0	14	0	7	0	75
2	0	39	1	0	0	13	0	1	0	54
3	0	49	0	0	0	5	0	0	0	54
4	0	24	1	0	3	2	0	1	0	31
5	0	57	0	2	0	7	0	1	0	67
6	0	92	0	2	3	17	0	3	0	117
7	1	107	0	12	3	8	0	3	1	135
8	2	147	3	6	5	17	0	8	29	217
9	2	147	1	13	4	21	0	6	41	235
10	3	138	0	43	7	25	1	8	84	309
11	0	130	2	38	2	22	0	2	28	224
12	1	111	0	18	5	19	0	6	4	164
13	1	113	0	73	2	22	0	11	41	263
14	2	154	0	64	6	32	1	6	72	337
15	0	135	1	35	8	30	0	6	27	242
16	2	113	0	24	0	28	1	5	16	189
17	2	118	2	17	5	25	0	5	3	177
18	0	127	1	1	4	28	2	5	5	173
19	2	127	1	4	8	26	0	7	9	184
20	1	105	1	8	2	22	0	7	1	147
21	0	94	0	1	2	20	0	5	0	122
22	0	71	0	0	2	15	0	5	1	94
23	0	73	0	2	0	12	0	2	1	90
計	19	2,380	16	363	72	439	5	115	363	3,772

(2) 月別119着信状況

2016年中

月別	種別	火災	救急 救助	その他 災害	問合せ	試験	いた ずら	間違 い	その他	通報 訓練	計
1	1	223	3	7	22	1	6	38	14	315	
2	1	195	0	15	12	0	10	26	22	281	
3	4	232	1	9	23	1	8	43	47	368	
4	3	171	1	7	42	2	4	48	15	293	
5	2	185	1	9	42	0	3	46	21	309	
6	2	169	4	5	26	1	6	34	34	281	
7	1	209	2	18	50	0	8	43	19	350	
8	3	213	2	14	16	0	6	36	17	307	
9	0	172	0	11	24	0	8	24	16	255	
10	1	201	1	9	21	0	5	42	43	323	
11	1	186	0	6	70	0	3	27	64	357	
12	0	224	1	5	15	0	5	32	51	333	
計		19	2,380	16	115	363	5	72	439	363	3,772

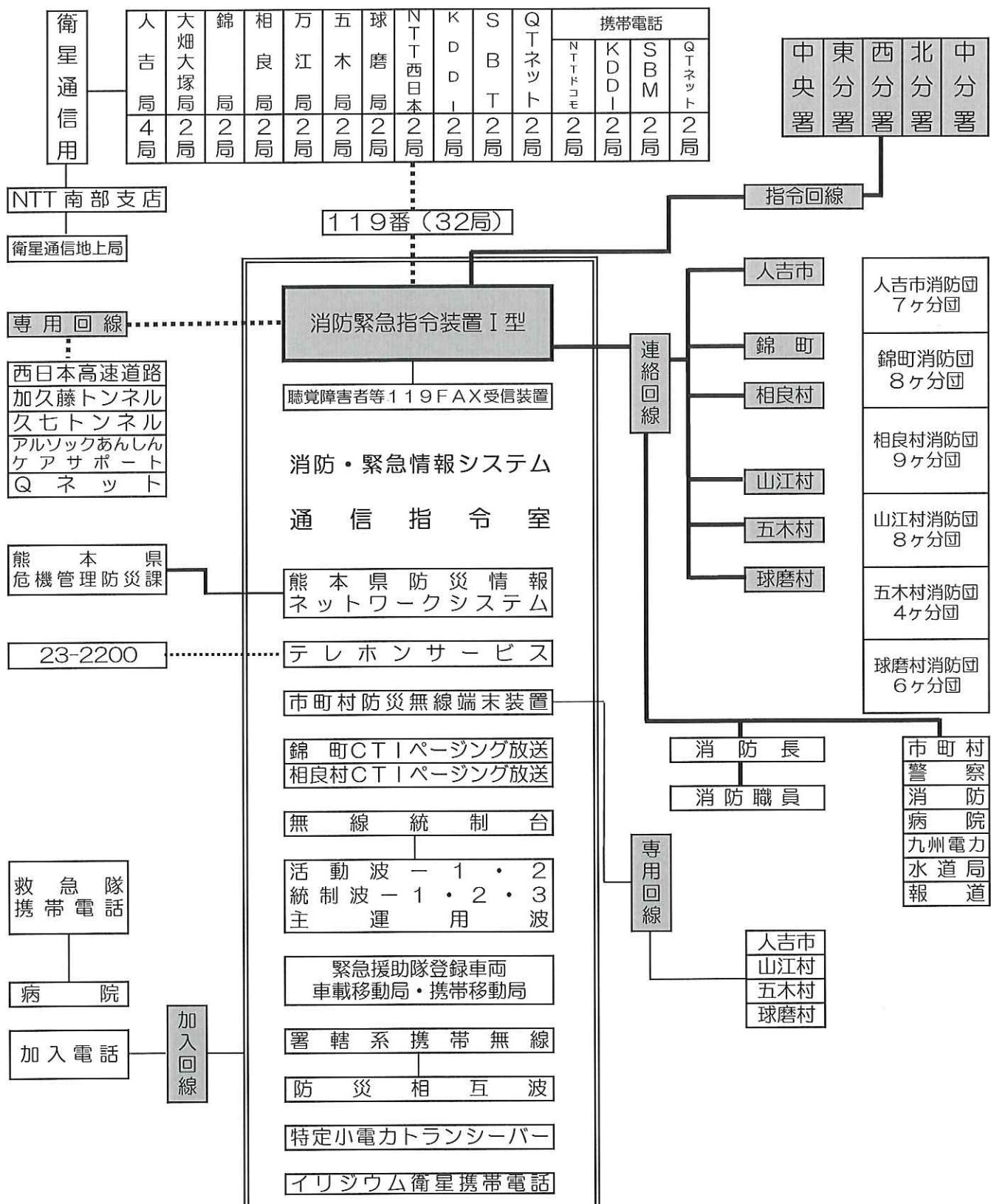
3 気象情報

2016年中

4 通信指令施設概要

項目	番号	品 名	数量	単位	備 考
通信指令システム	1	指令台	2	台	
	2	自動出動指定装置	2	台	23型カラー液晶ディスプレイ
	3	地図等検索装置	2	台	23型カラー液晶ディスプレイ
	4	長時間録音装置	1	台	多チャンネル型、HDD及びBlu-Rayバックアップ
	5	非常用受付設備	5	式	INS119番受付装置
	6	指令制御装置	1	式	
	7	119補助受付電話機	2	式	
	8	署所端末装置	5	台	中央(1)・東(1)・西(1)・北(1)・中(1)
	9	拡張台	2	台	
	10	多目的情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ 表示盤制御端末含む
	11	支援情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	12	車両運用表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	13	無線統制台	1	台	活動波1, 2・主運用波・統制波
	14	指令伝送装置	5	式	デスクトップパソコン（地図検索機能）
	15	気象情報収集装置	1	式	
	16	音声合成装置	1	式	
	17	システム監視装置	1	式	
	18	電源装置	1	式	無停電電源装置、耐雷トランス含む
	19	総合型位置情報通知設備	1	式	
	20	支援情報システム	1	式	
	21	119FAX受信装置	1	式	
	22	ネットワーク装置	1	式	
無線装置	23	無線回線制御装置	1	式	
	24	管理監視制御卓	1	式	
	25	遠隔制御器	3	台	LANタイプ：卓上型
	26	基地局無線装置	3	式	送受信機増設ユニット含む
	27	7.5GHz帯多重無線装置	2	式	簡易型
	28	直流電源装置	3	台	蓄電池
その他	29	監視カメラ	2	台	20インチモニターテレビ
	30	市町村防災無線装置	4	台	端末装置
	31	熊本県防災情報NWシステム	1	台	
	32	防犯カメラ	2	台	32インチモニターテレビ

5 消防通信系統図



署 所	一般加入電話	IP電話
消防本部・中央署(人吉市)	22-5241	050-3628-5791
ダイヤルイン受付	22-5469(内線)	
中央消防署東分署(錦町)	38-0119	050-3615-8055
中央消防署西分署(球磨村)	32-0119	050-3602-3255
中央消防署北分署(五木村)	37-2119	050-3464-3397
中央消防署中分署(相良村)	24-1243	050-3675-9057

予防業務



◆ 防火対象物現況

令別表項目別	対象物等	防火対象物数 150m ² 以上 (17項を除く)	防 火 管 理 者		点検が必要な 防火対象物
			必要な 施設数	届出数	
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
	□ 公会堂又は集会場	41	39	29	41
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1	1	1	1
	□ 遊戯場又はダンスホール	11	10	10	11
	ハ 風俗営業店等				
3	二 カラオケボックス・個室ビデオ店等	2	2	2	2
	イ 待合・料理店の類	1	1	1	1
4	□ 飲食店	58	57	43	58
	百貨店・マーケット・物品販売店等	135	96	78	135
5	イ 旅館・ホテル又は宿泊所	44	21	20	44
	□ 寄宿舎・下宿・共同住宅	410	87	16	410
6	イ 病院・診療所・助産所	68	45	43	68
	□ 老人・児童福祉施設等で介護程度の重いものが入所する施設	35	35	35	35
	ハ 上記以外の福祉施設及び保育所等	91	70	69	91
	二 幼稚園・盲・聾・養護学校	6	6	6	6
7	小・中・高等学校・大学・各種学校の類	114	110	110	103
8	図書館・博物館・美術館	13	8	7	8
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場				
	□ イ以外の公衆浴場	10	7	5	10
10	車両の停車場・船舶・航空機発着場	5	2	2	2
11	神社・寺院・教会の類	42	32	22	24
12	イ 工場・作業場	355	39	39	355
	□ 映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	31	16	16	31
	□ 飛行機・回転翼・航空機の格納庫				
14	倉庫	198	24	23	195
15	前各項に該当しない事業場	540	85	76	360
16	イ 令別表(1)～(5)イ・(6)・(9)イの用途に供する部分のある複合用途対象物	263	122	100	228
	□ イ以外の複合用途対象物	140	11	9	83
17	文化財・重要文化財	21	2	2	21
合		計	2,636	929	765
					2,324

◆ 管内中高層建築物現況

区分 令別表項目別		3 階	4 階	5 階	6 階	7 階 以上	合 計
合	計	287	73	30	8	18	416
市 町 村 別	人吉市	260	70	30	8	18	386
	錦町	16	2				18
	相良村	5	1				6
	五木村	4					4
	山江村						0
	球磨村	2					2

◆ 消防法令に基づく各種届出

平成28年度中

月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防計画届出書	42	17	11	13	15	14	30	16	8	4	7	8	185
防火管理者選解任届出書	10	10	2	7	9	10	24	14	4	4	7	4	105
消防用設備等着工届出書	2	1	2	3	2		3	1	2	3	2	1	22
消防用設備等設置届出書	3		7	1	4	2	2	4	4	4	2	3	36
消防用設備等点検結果報告書	38	54	40	66	62	40	46	72	43	48	24	63	596
防火対象物使用開始届出書	1	1	3	1	2	3	1	2	3	3	2	2	24
消防訓練実施計画報告書	18	35	24	17	22	29	61	66	27	23	34	45	401
消防訓練実施結果報告書	20	22	27	19	18	20	29	75	48	12	14	56	360
煙火打ち上げ・仕掛け報告書	3	17	4	25	8	23	16	7	4	5	4	4	120
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出書	6	2	6	3	4	2		3	3	3	7	4	43
炉・かまど・ボイラー乾燥設備設置届出書	1	1	2			3		4			1	1	13
発電・変電・蓄電池設置届出書		3	4		5	2	4		1	6		5	30
禁止行為の解除承認										2	1	2	1
露店等の開設届出書	4	4	1	16	11	7	13	7	6		9	5	83
圧縮アセチレンガス等貯蔵届出書				3		3		3		3	4	3	19
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する行為	4	5	5	2	7	11	5	12	15	16	16	14	112
計	152	172	138	176	169	169	234	286	170	135	135	219	2,155

◆ 防火管理者講習会実施状況

各年中

年 度	実 施 月 日	受講者数		年 度	実 施 月 日	受講者数
平成19年度	7月26日～27日	64		平成24年度	9月20日～21日	68
平成20年度	9月25日～26日	85		平成25年度	9月19日～20日	55
平成21年度	9月17日～18日	80		平成26年度	9月25日～26日	59
平成22年度	9月16日～17日	80		平成27年度	9月17日～18日	56
平成23年度	9月21日～22日	78		平成28年度	10月 6日～ 7日	72

◆ 建築物の同意件数

平成28年度中

市町村別	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
人吉市	3	5	2	4	2	4	4	2	6	4	1	3	40	
錦町				1		2		2					5	
相良村						1						1	2	
五木村				1									1	
山江村									1				1	
球磨村		1	1									1	3	
合 計	3	6	3	6	2	7	4	4	7	4	1	5	52	
新築	3	4	3	5	2	5	4	4	5	3	1	4	43	
増築		1		1		1			1			1	5	
改築													0	
用途変更										1	1		2	
その他の			1			1							2	

◆ 危険物施設・規制事務状況

平成28年度中

施設区分 区 分	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		貯 蔵 所 内	タ ン ク 外	タ ン ク 内	タ ン ク 下	タ ン ク 易	タ ン ク 動	貯 蔵 所 外	取 給 所 油	販 第 一 壳 種	販 第 二 壳 種	取 一 般		
市 町 村	人吉市	1	13	19	2	36		19	3	25	1		25	144
	錦町		4	2	1	10	1	5		10			12	45
	相良村			4		3		4		9			1	21
	五木村		2					2		4				8
	山江村		1			2				4				7
	球磨村		1			1		1		3				6
合 計		1	21	25	3	52	1	31	3	55	1	0	38	231
規 制 事 務	設 置 許 可							2	1				1	4
	変 更 許 可							2		6			20	28
	水 壓 (水 張) 検 査													0
	完 成 檢 査							4	1	5			21	31
	仮 使用 承 認									5			20	25
	廢 止 届				1		1	1	1					4
合 計		0	0	0	0	1	0	9	3	17	0	0	62	92

月 别	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
届 出 認 可 等	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
届 出 認 可 等	6	9	8	16	6	7	3	15	9	3	2	11	95

消防団



幼少年婦人防火委員会



◆ 消防団の組織及び現有勢力

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計	
分 団 数	7	8	9	4	8	6	42	
積 載 車	24	25	20	6	9	16	100	
小 型 ポ ン プ	25	25	20	12	18	13	113	
人 員	定 員	559	350	350	130	200	335	1,924
	実 員	499	382	277	118	161	251	1,688
	団 長	1	1	1	1	1	1	6
	副 団 長	3	2	2	1	2	2	12
	方 面 隊 長	5						5
	分 団 長	7	8	9	10	8	6	48
	副 分 団 長	7			2	8	6	23
	部 長	22	21	18	4	9	20	94
	班 長	88	23	52	28	34	44	269
	団 員	366	327	195	72	99	172	1,231

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20 歳未満	4	5	3		1	2	15
20 歳以上 30 歳未満	98	92	65	17	41	50	363
30 歳以上 40 歳未満	211	207	126	31	84	90	749
40 歳以上 50 歳未満	94	48	74	32	27	87	362
50 歳以上 60 歳未満	51	24	6	27	4	20	132
60 歳以上 70 歳未満	38	6	3	11	4	2	64
70 歳以上	3						3
合 計	499	382	277	118	161	251	1,688

◆ 在職年数別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5 年未満	169	103	58	29	40	54	453
5 年以上 10 年未満	109	87	55	21	31	62	365
10 年以上 15 年未満	117	121	62	13	40	39	392
15 年以上 20 年未満	76	46	52	16	29	48	267
20 年以上 25 年未満	20	15	34	16	15	32	132
25 年以上 30 年未満	6	6	12	10	3	14	51
30 年以上	2	4	4	13	3	2	28
合 計	499	382	277	118	161	251	1,688

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	中原保育園幼年消防クラブ	昭和51年7月15日	24名
	泉田保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月8日	17名
	おこば保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	17名
	蓬莱保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月13日	22名
	人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月15日	22名
	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月18日	17名
	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月19日	14名
	認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月20日	19名
	あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月21日	21名
	こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月23日	17名
	せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月28日	18名
錦町	人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	16名
	福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	32名
	サン保育園幼年消防クラブ	平成6年2月15日	24名
	一武保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	27名
	木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	20名
相良村	西保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	24名
	なつめ保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月13日	17名
	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年2月24日	21名
山江村	四浦保育所あざみ園幼年消防クラブ	平成9年3月12日	9名
	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	15名
	章鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成8年2月10日	22名
球磨村	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月28日	12名
	神瀬保育園幼年消防クラブ	昭和59年1月17日	9名
五木村	中央保育所幼年消防クラブ	昭和63年7月28日	9名
		計25クラブ	465名

◆ 保育園(所)防火クラブの現況

市町村名	クラブ保育園(所)名	結成年月日	員数
人吉市	泉田保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名
	おこば保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	8名
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	2名
	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	せん月保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	18名
	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	12名
	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	17名
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	10名
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	21名
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	31名
球磨村	神瀬保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	8名
相良村	なつめ保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	17名
	四浦保育所あざみ園防火クラブ	平成12年 7月 1日	9名
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	22名
計 クラブ :			202名

◆ 婦人防火クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
相良村	四浦 晴山婦人防火クラブ	昭和30年 4月 1日	13名
計 1クラブ :			13名

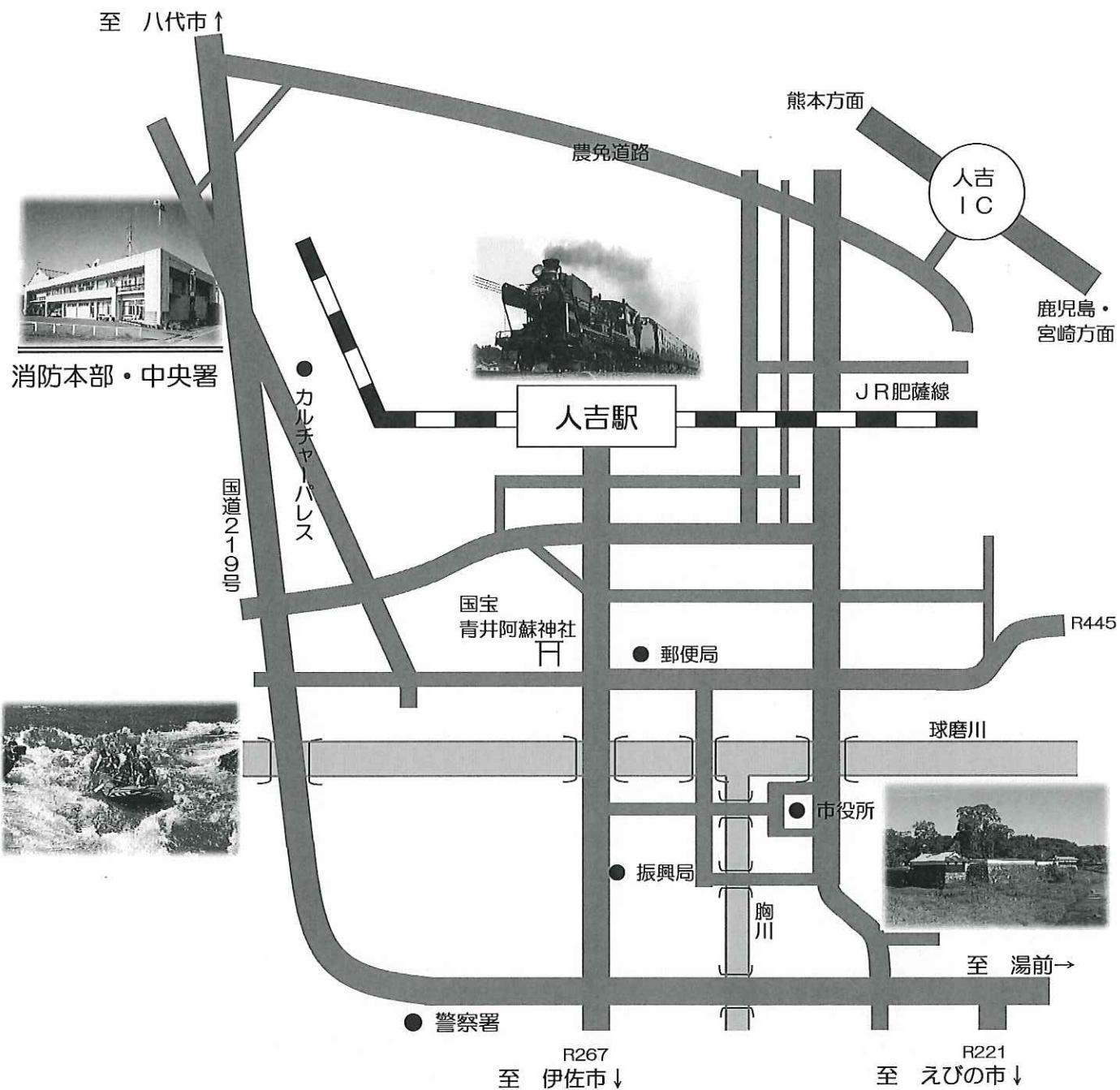
◆ 西瀬少年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	西瀬少年消防クラブ	平成28年 7月 3日	16名
計 1クラブ :			16名

全国統一防火標語（昭和41年度～平成29年度）

昭和41年度	火の始末 人にたのむな 任せるな
昭和42年度	さあねよう アッその前に 火の点検
昭和43年度	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない
昭和44年度	今捨てたタバコの温度が700度
昭和45年度	防火三百六十五日
昭和46年度	いま燃えようとしている火がある
昭和47年度	慣れた火に 新たな注意
昭和48年度	隣にも 声かけあって よい防火
昭和49年度	生活の 一部にしよう 火の点検
昭和50年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた！
昭和52年度	使う火を 消すまで離すな 目と心
昭和53年度	それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心
昭和54年度	これくらいと 思う油断を 火が狙う
昭和55年度	あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも
昭和56年度	毎日が 防火デーです ぼくの家
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり
昭和59年度	”あとで”より ”いま”が大切 火の始末
昭和60年度	怖いのは 「消したつもり」と 「消えたはず」
昭和61年度	防火の大役 あなたが主役
昭和62年度	消えたかな！ 気になるあの火もう一度
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末！
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
平成 2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成 3年度	毎日が 火の元警報 発令中
平成 4年度	点検を 重ねて築く ”火災ゼロ”
平成 5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成 6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成 7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成 8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成 9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度	たしかめて。 火を消してから 次のこと
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
平成15年度	その油断 火から炎へ 燐いへ
平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成17年度	あなたです 火のある暮らしの 見はり役
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成22年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年度	消しましよう その火その時 その場所で
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に

消防本部位置図



編集発行 人吉下球磨消防組合消防本部 企画教養課

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL : (0966) 22-5241

FAX : (0966) 22-5240

MAIL : honbu@fire119-hitosho.com

ホームページ : <http://www.fire119-hitosho.com/>